臺灣日日新報 (土曜日) 昭和七年十二月十日 第一万一千七百三十七號 (一)
臺灣新報 (第三版) 臺灣新報 (明治一一年五月九日第三種郵便物認可) 十二月九日 夕刊定價二個 部數

大膽に誠實な直率てしに 松岡代表の大演說

日本はキリストの如く 十字架に上るを辭せず

東洋平和の偉大なる使命と日本の支那の混亂について餘溫なく述ぶ

八日の聯盟總會に於て

【ゼネバ八日發電通】わが松岡代表は聯盟總會第二日目午後(零時半)から午後六時五十分まで一時間二十分に亙る大演說をなしたが、松岡代表の演說終るや各國代表隨員席から急激の如き拍手が起つた、本日迄ついぞ見ない光景であり、これ松岡代表の雄辯のみでなく幾分でも日本の眞意が徹底した爲である、演說中思はず手を振り拳を叩いて日本のこの眞意が分らぬかとばかりの語氣を强めて訴へた、議場は果然緊張したのみならず演說終つて自席に歸る代表中には感激の餘り涙ぐんでゐるものもあつた、演說の內容は次の如くである

【ゼネバ八日發電通】日本代表の松岡洋右氏は八日午後五時半(日本時間午後一時半)から國際聯盟總會第二委員會で滿洲問題に關する報告書を引用しつゝ約一時間に亙る大演說を行つた、その內容は日本の滿洲に於ける立場を明かにし、聯盟の滿洲に關する調査團の報告書の缺陷を指摘し、聯盟總會の滿洲問題に關する態度に對し嚴重なる警告を與へたものであつて

荒れ狂ふ魔の海の只中で
遭難して救はれる迄
早蕨の二將校交々語る

(馬公九日發電)　昨夜水交社に宿泊中の早蕨乘組員で救助された主計長主計大尉中野英夫、機關長(二浦文德機關大尉、航海長山崎喜中尉を訪問すれば山崎中尉不在にして主計長、機關長は遭難當時の狀況につき左の如く語る

押し出された形で
激浪の中に流された
漂流物に縋つて漂流一時間半
中野主計大尉語る

私は山崎中尉と外一人の三人が漂流物に取付いて約一時間半漂流してゐたが、昇竹に救助された、救助されてからの狀況は今では殆ど夢の樣である漂流してゐる間は眞實と充分考へさせられず、大浪の上に乘せられた時は艦が見えて大丈夫と力強くなるが浪の底になつた時は四方浪許りで隨分情なく思はれた併し必ず助かると云ふ深い信念を持つて漂流しつつ救助を待つてゐた、私は東京出發、遭つた際隔がありますが遭難後間はそれをすぐ思ひ浮べた、かかる場合第一に思ふのは矢つ張兩親の事です、私には兩親もあり妻もあり一男一女があります、妻子は目下吳に居てあるが原籍は兵庫縣姬路市外飾西村である

第一に思出したのは
故國の親の事だつた
上甲板に居て一番に激浪中へ
三浦機關大尉語る

俺はかうしてゐるが兵はどうなつたと思つた時は更に痛い思ひがした、一時間餘の間に色々な事が次々と胸の中に湧いて來た、私は中學時代から水泳の選手であるが、こんな場合には泳ぎてゐるが日本流の泳ぎ方では駄目だ、何と何にもならない事を充分經驗した中野主計長さ云はれる樣に今回吳竹艦長の指揮による同艦の救助活動は實に自慢しきものである

第二十五驅逐隊
九日基隆に入港
天候回復まで待機

【基隆電話】遭難驅逐艦早蕨救援のため急遽現場に赴いた第二十五驅逐隊の檜、竹の三艦は天候回復まで待機すべく九日午前一時基隆に入港、第六艦隊に報告した午前九時發北より非上海軍武官も來基、基隆港着直ぐ、驅逐艦長、駆逐艦長等と共に懇談會を開き救助狀況等を語つた、金子司令は語る

出動命令により一同緊張の上署につき八日未明現場に到着捜査に從事したが、後期の成績を擧げ得なかつたのは遺憾である、今後は捜索を加盟を中心に應援に亙る調査を行ふ豫定である

次いで非上海軍武官は一同に代り左の如く話つた

天候は漸次回復しつつありとはいふものの波は相變らず高く、風速も十米あり、早蕨は損傷したままの形でゐるかどうかは依然として判明しない、現在現場には驅逐の軍艦とトロール船數隻待機の姿勢をとつてゐるが、いざと云へばいつでも出動する準備は出來てゐる

井上海軍武官は同驅逐隊をして無線連絡をとらしめると共に萬全の策として基隆無電を防ぎ驅艦方を依頼したが、引續き基隆に留り連絡所を本據として各所との連絡を圖る豫定である、同司令官の話る所によれば捜査中の軍艦はいつ基隆に入港するかも知れず、又場合によつては飛行機も飛んでくるかも判らないとのことである

英海相が弔電

【ロンドン八日發電通】イギリス海相アイヤーモンセル氏は日本驅逐艦早蕨の遭難に對し我が岡田海相宛弔電を發せり

八日夜、山海關で
日支兩軍が衝突
我が裝甲車に不意に射撃

(天津九日發聯合)　七日奉山沿線前屯衛附近に匪賊の大部隊襲來以來險惡化した山海關方面の形勢は八日夜に至り急激に惡化し遂に日支兩軍間に衝突起つた

【天津九日發電通信至急報】支那駐屯軍發表——土匪討伐の爲山海關東北約十哩の前所營驅逐隊警備中の〇部隊裝甲車が敵水雷線の爲め八日午後八時十分山海關に向ふ途中、長城附近で支那兵團隊に不意打ちに遭遇、我軍隊沈默せしめた、我守備隊緊急警備の委託をとり居留民全部兵營に收容、敵襲撃に備へた

【モスクワ八日發電通】支那駐屯軍發表——土匪討伐の爲山海關東北約十哩の前所營驅逐隊警備中の〇部隊裝甲車が敵水雷線の爲め八日午後八時十分山海關に向ふ途中、長城附近で支那兵團隊に不意打ちに遭遇、我軍隊沈默せしめた、我守備隊緊急警備の委託をとり居留民全部兵營に收容、敵襲撃に備へた

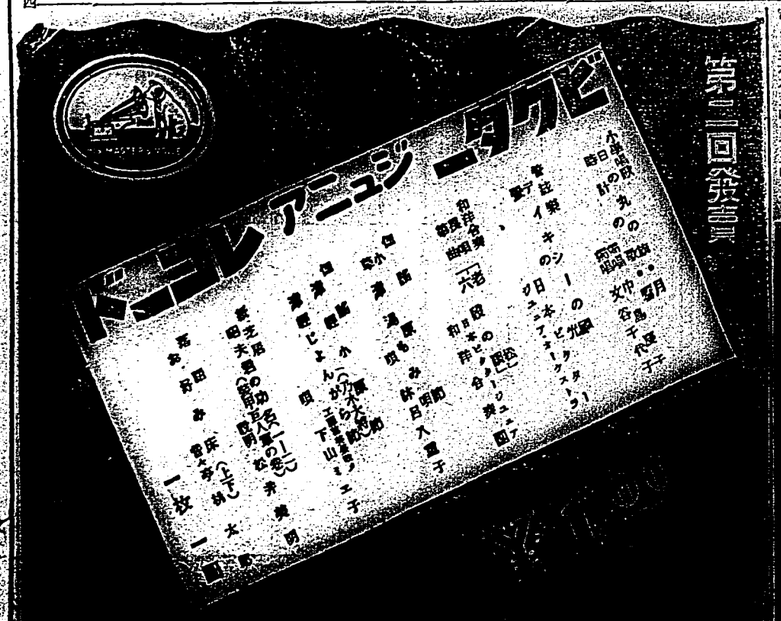
蘇炳文の監禁は嘘
幕僚と共に釋放さる
多分ゼネバに赴かん

【モスクワ八日發電通】ソヴエット聯邦筋では叛將蘇炳文を釋放しヨーロッパ行を許可したが、蘇炳文は多分ゼネバに赴くこととならう

【新京八日發聯合】七日チチハルの軍縮會議に出席した蘇炳文以下の日露軍に引渡しは監視と報明した

【モスクワ八日發電通】ソヴエット政府は監視下にあつた蘇炳文とその主要幕僚を釋放しヨーロッパに赴く事を許し、その他の被監者は自己の意に依りソヴエット政府内に止ることとなり、ソ政府は之等が條約に於ける新土木事業に職を得るやう斡旋することとなつた、蘇炳文の目的地は未だ發表されぬが、消息通はゼネバに赴くだらうと觀てゐる、又官邊では馬占山がソ領内に居るとの報道は否定してゐる

第二回發表員



學良、佛國より
最新式武器を購入
海路天津著、北平に輸送

【山海關八日發本社特電】某邦人筋によれば學良は最近フランスより最新式の武器多數を買入れ十一月二十日海路天津に到著、十二月二日貨車三十二輛に積込み北平に輸送した、その內容は發表せぬが步兵四門の外小銃と最新式機關銃多數を含むと

今年はチフスが
著しく增加
死亡率も昨年より激增

格氏の談話は依然重態で八日午後七時頃現在治療經過の結果體溫三十八度五分、脈搏呼吸三十で總か流動物を攝取した、尙この日秋田縣採以下政友會代議士多數の見舞があつた

大流行を
極めた
今年十一月の發生
患者は
昨年十一月の發生
患者の
約六倍

寨北州下に於けるチフスは六月以降漸次增加して一昨日現在の發生數の累計は百六名(昨年十一月の發生數は七名)(昨年十一月の發生者二十八名に比し四十二名の增加)を出し本年の流行レコードを作るに至つた、本年六月以降の寨北市に於けるチフス發生增加の傾向を示せば

(一)二月十四名(二)三月十三名(三)四月五名(四)五月十名(五)六月十二名(六)七月四十七名(七)八月一二三名(八)九月六十四名(九)十月六十名(十)十一月一九名(十一)十二月十四名

の通り例年の六、七、八月に多くの他の月は六、七、八月を中心に山なりに漸減してゐたのに反して本年は六月より

漸增して

ゐる點は珍らしい現象で州市保生當局ではその對策につき鋭意中である、尙本年寨北市の一月より十一月迄の發生總數三百七十七名は昨年一月より十一月迄の發生總數二百五十名に比し百二十七名の增加を示し寨北州下の一月より十一月迄の發生總數百七十八名は昨年一月より十一月迄の發生總數四百名に比し百七十八名の增加を來たしてゐる、その他死亡率から見ても寨北市本年一月より十一月迄の

總死亡數

八十名は昨年一月より十一月迄の死亡數五十名に比して三十名の增加、寨北州下本年一月より十一月迄の死亡數百三十三名は昨年一月より十一月迄の死亡數八十八名に比して四十五名の增加を示してゐるが何れが多いかを考へて見ても本年は寨北州下のチフスの態勢で依然として猛威を逞ひつつある十二月のチフス發生總數百七十八名は昨年一月より十一月迄の發生總數四百名に比して百二十七名の增加を示してゐる、寨北州民はチフスの防遏に關し一層の自重をするに保生當局では希望してゐる

家庭合理化展
夜間開場

數育館における家庭合理化展は家庭生活の上に參考となるものが頗る多いので開場以來澁山の觀覽者が詰め寄せてゐるが此の盛況を主婦初め其の他成るべく澁山の人々に觀覽して貰ひたいとの趣旨から主催者側は來る十日及び十一日の午後七時開場日は特に夜間開場をなす筈で夜人時迄入場できることに決つた由

森恪氏
依然重態

【東京九日發通信】政友會總裁

滿洲國民衆の間に
帝政を要望の聲
立憲君主政體とする運動
要路の間にも擡頭

【新京八日發電通】滿洲國は建國以來十ケ月であるが諸政悉く急速なる成長を遂げ今や獨立國家として完全なる發達を遂げつつあるが、最近に至り民衆の間に帝政を要望する聲擡頭し漸次表面的運動となつたが政府の主要椅子を占める滿朝舊臣も本運動に共鳴し滿洲帝政の實現を促進する氣運を醸成するに至つた、この運動は滿洲國各民族の獨立精神に基くと同時に立憲君主政體に依る帝國の國際的躍進を翹望せんとするものである

重油を被つて
漂流中大苦しみ
遭難原因に就いては沈默

其他兩氏の話によれば吳、竹兩艦の士官以上五名下士官兵各五名計十名が救助された、當日は非常な荒れで早く飲んでくれとの位置を知らせたかつたから、遭難當時漂流してゐた各員が互に相救助し合つて我のみ生きようとするが如き人が全然なかつた事は今から考へても全く泣かされる矢つ張り我々は凡夫です、生きるか死ぬるかの間に於ても第一に思ふのは親の事であつた、それから

漁船の活躍に期待

【吳鎭電話】遭難早蕨の捜索は八日正午より現場附近に到著した驅逐艦水雷艇トロール船四隻、手

自分は遭難當時は上甲板にゐたが、その一番に救助の綱がはいらぬとばかり海中へ而も激浪の中に投げとばされた、無論外套を著た儘である、それ迄は泳ぎをしてゐたが附近に漂流してゐた兵員が機關長外套を脫ぐがぬと駄目ですと注意してくれたのではじめて氣がついて外套や上衣を脫ぎ捨てて波に委せて泳いで漂流してゐたが、二時間餘にして吳竹に救ひあげられた、當日は非常な雨で早く飲んでくれとの位置を知らせたかつたから、遭難當時漂流してゐる各員が互に相救助し合つて我のみ生きようとするが如き人が全然なかつた事は今から考へても全く泣かされる矢つ張り我々は凡夫です、生きるか死ぬるかの間に於ても第一に思ふのは親の事であつた、それから

其他兩氏の話によれば吳、竹兩艦の士官以上五名下士官兵各五名計十名が救助された、當日は非常な雨で早く飲んでくれとの位置を知らせたかつたから、遭難當時漂流してゐた各員が互に相救助し合つて我のみ生きようとするが如き人が全然なかつた事は今から考へても全く泣かされる矢つ張り我々は凡夫です、生きるか死ぬるかの間に於ても第一に思ふのは親の事であつた、それから

自分は遭難當時は上甲板にゐたが、その一番に救助の綱がはいらぬとばかり海中へ而も激浪の中に投げとばされた、無論外套を著た儘である、それ迄は泳ぎをしてゐたが附近に漂流してゐた兵員が機關長外套を脫ぐがぬと駄目ですと注意してくれたのではじめて氣がついて外套や上衣を脫ぎ捨てて波に委せて泳いで漂流してゐたが、二時間餘にして吳竹に救ひあげられた、當日は非常な雨で早く飲んでくれとの位置を知らせたかつたから、遭難當時漂流してゐる各員が互に相救助し合つて我のみ生きようとするが如き人が全然なかつた事は今から

俺はかうしてゐるが兵はどうなつたと思つた時は更に痛い思ひがした、一時間餘の間に

泳ぎてゐるが日本流の泳ぎ方では駄目だ、何と何にもならない事を充分經驗した

中野主計長さ云はれる樣に今回吳竹艦長の指揮による同艦の救助活動は實に自慢しきものである

臺北州警務部
年末賞與

寨北州警務部の年末賞與は九日左の通り決定したが前年度に比し各

天氣概況(九日)

本島は北部と東部が曇り南西部は快晴の好天氣であります

△天氣概況　十二時

一區(北部)　東の和風晴れ

二區(東部)　南東の和風曇時々晴

三區(西部)　北の和風晴れ

四區(南部)　東の和風晴れ

寨北地方　東の和風晴

	前九時	後三時	後九時
午(水)	九〇	八四	五〇
午(日)	五〇	三〇	一四

株式

東京短期

▲前場

	寄付	高値	安値	引値	前引
鐘紡	一九二	一九三	一九〇	一九三	同
同新	一三六	一三八	一三五	一三八	同
日紡	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
同新	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
富士紡	四四	四四	四三	四四	同
同新	一三〇	一三〇	一二九	一三〇	同
東洋紡	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
同新	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
日清紡	三一	三一	三〇	三一	同
同新	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
日毛	二五〇	二五〇	二四九	二五〇	同
同新	六七〇	六七〇	六六〇	六七〇	同
大紡	三〇〇	三〇〇	二九九	三〇〇	同
同新	八〇〇	八〇〇	七九〇	八〇〇	同
同紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
倉紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
敷紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
鐘紡	三五	三五	三四	三五	同
同新	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
日紡	二〇〇	二〇〇	一九九	二〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
東洋紡	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
同新	九〇〇	九〇〇	八九九	九〇〇	同
大紡	三〇〇	三〇〇	二九九	三〇〇	同
同新	八〇〇	八〇〇	七九〇	八〇〇	同

大阪短期

▲前場

	寄付	高値	安値	引値	前引
鐘紡	三五	三五	三四	三五	同
同新	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
日毛	二五〇	二五〇	二四九	二五〇	同
同新	六七〇	六七〇	六六〇	六七〇	同
大紡	三〇〇	三〇〇	二九九	三〇〇	同
同新	八〇〇	八〇〇	七九〇	八〇〇	同
同紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
倉紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
敷紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
鐘紡	三五	三五	三四	三五	同
同新	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
日紡	二〇〇	二〇〇	一九九	二〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
東洋紡	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
同新	九〇〇	九〇〇	八九九	九〇〇	同
大紡	三〇〇	三〇〇	二九九	三〇〇	同
同新	八〇〇	八〇〇	七九〇	八〇〇	同

東京長期

▲前場

	寄付	高値	安値	引値	前引
鐘紡	一九二	一九三	一九〇	一九三	同
同新	一三六	一三八	一三五	一三八	同
日紡	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
同新	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
富士紡	四四	四四	四三	四四	同
同新	一三〇	一三〇	一二九	一三〇	同
東洋紡	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
同新	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
日清紡	三一	三一	三〇	三一	同
同新	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
日毛	二五〇	二五〇	二四九	二五〇	同
同新	六七〇	六七〇	六六〇	六七〇	同
大紡	三〇〇	三〇〇	二九九	三〇〇	同
同新	八〇〇	八〇〇	七九〇	八〇〇	同
同紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
倉紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
敷紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
鐘紡	三五	三五	三四	三五	同
同新	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
日紡	二〇〇	二〇〇	一九九	二〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
東洋紡	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
同新	九〇〇	九〇〇	八九九	九〇〇	同
大紡	三〇〇	三〇〇	二九九	三〇〇	同
同新	八〇〇	八〇〇	七九〇	八〇〇	同

大阪長期

▲前場

	寄付	高値	安値	引値	前引
鐘紡	一九二	一九三	一九〇	一九三	同
同新	一三六	一三八	一三五	一三八	同
日紡	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
同新	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
富士紡	四四	四四	四三	四四	同
同新	一三〇	一三〇	一二九	一三〇	同
東洋紡	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
同新	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
日清紡	三一	三一	三〇	三一	同
同新	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
日毛	二五〇	二五〇	二四九	二五〇	同
同新	六七〇	六七〇	六六〇	六七〇	同
大紡	三〇〇	三〇〇	二九九	三〇〇	同
同新	八〇〇	八〇〇	七九〇	八〇〇	同
同紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
倉紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
敷紡	四〇〇	四〇〇	三九九	四〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
鐘紡	三五	三五	三四	三五	同
同新	一七〇	一七〇	一六九	一七〇	同
日紡	二〇〇	二〇〇	一九九	二〇〇	同
同新	一〇〇	一〇〇	九九	一〇〇	同
東洋紡	一九〇	一九〇	一八九	一九〇	同
同新	九〇〇	九〇〇	八九九	九〇〇	同
大紡	三〇〇	三〇〇	二九九	三〇〇	同
同新	八〇〇	八〇〇	七九〇	八〇〇	同

神戸期米

▲前場

	寄付	高値	安値	引値	前引
當中	二一二	二一四	二一一	二一三	先一
同	二一八	二一九	二一四	二一四	同
同	二二四	二二四	二二〇	二二〇	同
同	二二八	二二八	二二四	二二四	同
同	二三二	二三二	二二八	二二八	同
同	二三六	二三六	二三二	二三二	同
同	二四〇	二四〇	二三六	二三六	同
同	二四四	二四四	二四〇	二四〇	同
同	二四八	二四八	二四四	二四四	同
同	二五二	二五二	二四八	二四八	同
同	二五六	二五六	二五二	二五二	同
同	二六〇	二六〇	二五六	二五六	同
同	二六四	二六四	二六〇	二六〇	同
同	二六八	二六八	二六四	二六四	同
同	二七二	二七二	二六八	二六八	同
同	二七六	二七六	二七二	二七二	同
同	二八〇	二八〇	二七六	二七六	同
同	二八四	二八四	二八〇	二八〇	同
同	二八八	二八八	二八四	二八四	同
同	二九二	二九二	二八八	二八八	同
同	二九六	二九六	二九二	二九二	同
同	三〇〇	三〇〇	二九六	二九六	同
同	三〇四	三〇四	三〇〇	三〇〇	同
同	三〇八	三〇八	三〇四	三〇四	同
同	三一二	三一二	三〇八	三〇八	同
同	三一六	三一六	三一二	三一二	同
同	三二〇	三二〇	三一六	三一六	同
同	三二四	三二四	三二〇	三二〇	同
同	三二八	三二八	三二四	三二四	同
同	三三二	三三二	三二八	三二八	同
同	三三六	三三六	三三二	三三二	同
同	三四〇	三四〇	三三六	三三六	同
同	三四四	三四四	三四〇	三四〇	同
同	三四八	三四八	三四四	三四四	同
同	三五二	三五二	三四八	三四八	同
同	三五六	三五六	三五二	三五二	同
同	三六〇	三六〇	三五六	三五六	同
同	三六四	三六四	三六〇	三六〇	同
同	三六八	三六八	三六四	三六四	同
同	三七二	三七二	三六八	三六八	同
同	三七六	三七六	三七二	三七二	同
同	三八〇	三八〇	三七六	三七六	同
同	三八四	三八四	三八〇	三八〇	同
同	三八八	三八八	三八四	三八四	同
同	三九二	三九二	三八八	三八八	同
同	三九六	三九六	三九二	三九二	同
同	四〇〇	四〇〇	三九六	三九六	同
同	四〇四	四〇四	四〇〇	四〇〇	同
同	四〇八	四〇八	四〇四	四〇四	同
同	四一二	四一二	四〇八	四〇八	同
同	四一六	四一六	四一二	四一二	同
同	四二〇	四二〇	四一六	四一六	同
同	四二四	四二四	四二〇	四二〇	同
同	四二八	四二八	四二四	四二四	同
同	四三二	四三二	四二八	四二八	同
同	四三六	四三六	四三二	四三二	同
同	四四〇	四四〇	四三六	四三六	同
同	四四四	四四四	四四〇	四四〇	同
同	四四八	四四八	四四四	四四四	同
同	四五二	四五二	四四八	四四八	同
同	四五六	四五六	四五二	四五二	同
同	四六〇	四六〇	四五六	四五六	同
同	四六四	四六四	四六〇	四六〇	同
同	四六八	四六八	四六四	四六四	同
同	四七二	四七二	四六八	四六八	同
同	四七六	四七六	四七二	四七二	同
同	四八〇	四八〇	四七六	四七六	同
同	四八四	四八四	四八〇	四八〇	同
同	四八八	四八八	四八四	四八四	同
同	四九二	四九二	四八八	四八八	同
同	四九六	四九六	四九二	四九二	同
同	五〇〇	五〇〇	四九六	四九六	同
同	五〇四	五〇四	五〇〇	五〇〇	同
同	五〇八	五〇八	五〇四	五〇四	同
同	五一二	五一二	五〇八	五〇八	同
同	五一六	五一六	五一二	五一二	同
同	五二〇	五二〇	五一六	五一六	同
同	五二四	五二四	五二〇	五二〇	同
同	五二八	五二八	五二四	五二四	同
同	五三二	五三二	五二八	五二八	同
同	五三六	五三六	五三二	五三二	同
同	五四〇	五四〇	五三六	五三六	同
同	五四四	五四四	五四〇	五四〇	同
同	五四八	五四八	五四四	五四四	同
同	五五二	五五二	五四八	五四八	同
同	五五六	五五六	五五二	五五二	同
同	五六〇	五六〇	五五六	五五六	同
同	五六四	五六四	五六〇	五六〇	同
同	五六八	五六八	五六四	五六四	同
同	五七二	五七二	五六八	五六八	同
同	五七六	五七六	五七二	五七二	同
同	五八〇	五八〇	五七六	五七六	同
同	五八四	五八四	五八〇	五八〇	同
同	五八八	五八八	五八四	五八四	同
同	五九二	五九二	五八八	五八八	同
同	五九六	五九六	五九二	五九二	同
同	六〇〇	六〇〇	五九六	五九六	同
同	六〇四	六〇四	六〇〇	六〇〇	同
同	六〇八	六〇八	六〇四	六〇四	同
同	六一二	六一二	六〇八	六〇八	同
同	六一六	六一六	六一二	六一二	同
同	六二〇	六二〇	六一六	六一六	同
同	六二四	六二四	六二〇	六二〇	同
同	六二八	六二八	六二四	六二四	同
同	六三二	六三二	六二八	六二八	同
同	六三六	六三六	六三二	六三二	同
同	六四〇	六四〇	六三六	六三六	同
同	六四四	六四四	六四〇	六四〇	同
同	六四八	六四八	六四四	六四四	同
同	六五二	六五二	六四八	六四八	同
同	六五六	六五六	六五二	六五二	同
同	六六〇	六六〇	六五六	六五六	同
同	六六四	六六四	六六〇	六六〇	同
同	六六八	六六八	六六四	六六四	同
同	六七二	六七二	六六八	六六八	同
同	六七六	六七六	六七二	六七二	同
同	六八〇	六八〇	六七六	六七六	同
同	六八四	六八四	六八〇	六八〇	同
同	六八八	六八八	六八四	六八四	同
同	六九二	六九二	六八八	六八八	同
同	六九六	六九六	六九二	六九二	同
同	七〇〇	七〇〇	六九六	六九六	同
同	七〇四	七〇四	七〇〇	七〇〇	同
同	七〇八	七〇八	七〇四	七〇四	同
同	七一二	七一二	七〇八	七〇八	同
同	七一六	七一六	七一二	七一二	同
同	七二〇	七二〇	七一六	七一六	同
同	七二四	七二四	七二〇	七二〇	同
同	七二八	七二八	七二四	七二四	同
同	七三二	七三二	七二八	七二八	同
同	七三六	七三六	七三二	七三二	同
同	七四〇	七四〇	七三六	七三六	同
同	七四四	七四四	七四〇	七四〇	同
同	七四八	七四八	七四四	七四四	同
同	七五二	七五二	七四八	七四八	同
同	七五六	七五六	七五二	七五二	同
同	七六〇	七六〇	七五六	七五六	同
同	七六四	七六四	七六〇	七六〇	同
同	七六八	七六八	七六四	七六四	同
同	七七二	七七二	七六八	七六八	同
同	七七六	七七六	七七二	七七二	同
同	七八〇	七八〇	七七六	七七六	同
同	七八四	七八四	七八〇	七八〇	同
同	七八八	七八八	七八四	七八四	同
同	七九二	七九二	七八八	七八八	同
同	七九六	七九六	七九二	七九二	同
同	八〇〇	八〇〇	七九六	七九六	同
同	八〇四	八〇四	八〇〇	八〇〇	同
同	八〇八	八〇八	八〇四	八〇四	同
同	八一二	八一二	八〇八	八〇八	同
同	八一六	八一六	八一二	八一二	同
同	八二〇	八二〇	八一六	八一六	同
同	八二四	八二四	八二〇	八二〇	同
同	八二八	八二八	八二四	八二四	同
同	八三二	八三二	八二八	八二八	同
同	八三六	八三六	八三二	八三二	同
同	八四〇	八四〇	八三六	八三六	同
同	八四四	八四四	八四〇	八四〇	同
同	八四八	八四八	八四四	八四四	同
同	八五二	八五二	八四八	八四八	同
同	八五六	八五六	八五二	八五二	同
同	八六〇	八六〇	八五六	八五六	同
同	八六四	八六四	八六〇	八六〇	同
同	八六八	八六八	八六四	八六四	同
同	八七二	八七二	八六八	八六八	同
同	八七六	八七六	八七二	八七二	同
同	八八〇	八八〇	八七六	八七六	同
同	八八四	八八四	八八〇	八八〇	同
同	八八八	八八八	八八四	八八四	同
同	八九二	八九二	八八八	八八八	同
同	八九六	八九六	八九二	八九二	同
同	九〇〇	九〇〇	八九六	八九六	同
同	九〇四	九〇四	九〇〇	九〇〇	同
同	九〇八	九〇八	九〇四	九〇四	同
同	九一二	九一二	九〇八	九〇八	同
同	九一六	九一六	九一二	九一二	同

續殘月譜

(64)

志乃田廸司作

清水三重三畫

音はぬ人(二)

昌都は、苦々しく聞いて。

「誠吾は、昔から、すべて悪なるをよしとして——重吉にある」

「重吉！ へッ、旦那は兼吉を殺べたんですかい」

千一、慌てから口を入れた。

「ははは、そんな筈はない、お生憎なことに、山路にはかかったさ」

と、昌都は笑つて。

「のう組頭、こいつを聞くと大分に面倒に巻込まれそうだぞ」

「旦那様、滅相もない、私は、何も存じません」

「へへ、お脅かしなさいまし、旦那様に限つて」

「お前は居候だろう」

「居候とやりきれねえなあ」

と、八郎に聞いて。

「折角、大した獲物があつたんだ、これを、夏蚯みなどで待ち込むなら、ちと、惜しいすぎ」

千一は、大様の猫のはづれで求めた御馳走を奪く様だ。

「さうだのう」

友八組頭も同意と見える。

「さうやとも、こいつは一つ、旦那に頼んで、わざと、一思ひに殺して呉いてやや、組の者を、みんな集めやうか？」

と、悪戯たのが御組頭の金七。

「うむ、よからう」

友八組頭も、快諾を與へた。

「さうなりや、一番、こいつは、縛つて、へへ、さしつめ、農行が待つて居るだな、ふふつ」

千一、笑り、鋸に入つて居る。

「待つて貰はう」

喜助が、重い口調で云つた。

「待つて何つしやいますと？」

千一が、さも不思議がりで云ふのを、

「かい！」

「新かー」

「驚いた、私です」

「へへ、お脅かしなさいまし、旦那様に限つて」

「お前は居候だろう」

「居候とやりきれねえなあ」

と、八郎に聞いて。

「折角、大した獲物があつたんだ、これを、夏蚯みなどで待ち込むなら、ちと、惜しいすぎ」

千一は、大様の猫のはづれで求めた御馳走を奪く様だ。

「さうだのう」

友八組頭も同意と見える。

「さうやとも、こいつは一つ、旦那に頼んで、わざと、一思ひに殺して呉いてやや、組の者を、みんな集めやうか？」

と、悪戯たのが御組頭の金七。

「うむ、よからう」

友八組頭も、快諾を與へた。

「さうなりや、一番、こいつは、縛つて、へへ、さしつめ、農行が待つて居るだな、ふふつ」

千一、笑り、鋸に入つて居る。

「待つて貰はう」

喜助が、重い口調で云つた。

「待つて何つしやいますと？」

千一が、さも不思議がりで云ふのを、

「昭和新選組」のSP上映具體化す

パ社の配給は見込薄

村田監氏等の新映畫製作第一回作品「昭和新選組」は既に新春のSPチーン封切と呼稱してゐるが未だ正式な契約も成立してゐないし、これが具體的な話合は作品完成後に俟にねばならないから、目下の處新映畫社の動きが二轉

新映畫社 のスタート

日活製作部長

小市民

原作……宣夏子
脚色……倉田文人
撮影……内田誠一
舞子……伏見富子
ソノ姉真也……尾上助一郎
ソノ妻芳枝……相良愛子
隣夫……井染四郎
ソノ妻おみつ……五月潤子
川崎の母……須藤恒子
娘綾子……宇田川幸子
弟二郎……中村英雄
隣嫂根……明智三郎
佐脇夫人……吉田照子
メンサー……曾我阿以子

【コーガイ】

小市民とは何か、それは自分及び自分の周囲の僅かの人々の安易と平隠をのみひたすらに守り通ふ心である、今は亡き父親の永年の保険づとめの賜物である過眠扶助料をたのみにつつましく暮してゐる二家族があつた、一つは須田ミツとその息子秀夫であり、二つは東芳枝と舞子の二家だつたある日オミクは扶助料を郵便局へとりに行つた時自分の無智の故に代理をしてもらつた舞子をしみじみと不二映畫を根據として實演に出た渡邊、横尾龍海男、吉谷久雄の喜劇映畫プロダクションは近頃の如く中野かほる、南條里子を加へ第一回作品は「愉快な惡漢」と決定配給は日活が引受け、年内撮影を完成し新春封切の豫定でキャスト は左の如し

原作脚色……守田正之、監督……西尾佳雄、撮影……山口良雄、俳優……渡邊龍尾、横尾龍海男、吉谷久雄、南條里子、中野かほる、帶谷……ほかキネマ俱樂部、スタヂオ、サー

ヴイス(KSS)により同映畫の撮影に入り、十六日の三日間富北溪畔で「名物男」完結篇の撮影を行ひ、十七日より東京に歸つて、目下製作中の日活多摩川撮影所に於て最後の仕上げをなす筈である。

新刊紹介

◇東西幽靈考(藤澤衛彦著)　死んで我が國の旅の上の死者の國に行くと考へられた思想は一方に於ては死後の運命に對する興味と共に、死者の死後の姿の想像と著しく關聯した生活の世界と交渉を持たしむるに至つた、要之が多神教的傳統の所産である所謂妖怪變化と相俟つて今日の多岐多樣な妖怪をでつちあげたのである、尚本書は斯る點に於

日本喜劇映畫プロ第一回作『愉快な惡漢』

配給は日活が引受る

ボビー・ジョンスの ゴルフ映畫前篇入荷

ゴルファン期待のもの

ゴルフ界のナンバー・ワン・ボビー・ジョンスの「ゴルフの神髓」のうち「ハウ・アイ・プレイ・ゴルフ」の全十一卷はワーナー日本支社に入荷されたが、この映畫は

ゴルフの手ほどき。ブラ

ブの握り方からスウングをスローモーションで說明したものでドライヴアニプリックの使ひわけ、スプンの好適例、用法等ゴルファンには特に期待されてゐるもの

時事七題

臺北　小松松濤

立てよ銀州味方は日本

野原な國境は狹で來い

踏み立ちに來つた若い二人は總ちあはぬ、悪にたにたものを感じ始めた、駒夫の母おミネも東京へ嫁入に出かけたが雪子の母方伎は駒夫の家よりも少し暮しがよいので雪子をとつかすることを欲せずアルチユアの總帥根にとつかせたく思つてゐた、たまゝサガを雪子の見合場所に舞踏會を選んだのも駒夫とする佐藤夫人で、ある、駒夫の面をまつすけ様として駒夫はそれを雪子の考へだと、ところがごかいして感激を與つた、ところが駒夫は雪子に家が世帶になつた川崎家の面倒を見てやる様になつた、川崎家の母親の死の原因が駒夫と雪子の思ひがけない合合に二人の戀愛も破滅してしまつた、二人は共通の感激と憂愁によつてしつかりと結ばれて行つたこの二人の若い戀の邊ろに矢張りアルチユアを滑した若いた二人の世界がほんとうに強つて行つた(劇團は伏見富子と林栄(劇)

名家臨時手合將棋

(五)

手合　四段　△樋口義雄

先　四段　▲市川一郎

△樋口氏(特駒)　歩歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	二
桂		歩	歩						三
歩	歩			歩					四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角			馬			飛		八
香	桂	金	銀	玉	金	銀	桂	香	九

(臺北高等女子校の圖面)

▲市川氏(特駒)　角歩歩歩

▲六六銀△三三銀▲五五銀右△同銀▲同銀△五六歩▲四六銀△七三桂▲七九玉

△市川四段日く　六六銀は位を歩つて▲四歩を絶に利せられては大變で四四の出を注意すべきである、五五銀右は急な作戰もないので五三銀の打込みを作る意味を狙つてゐる

▲同四段日く　五六歩は絶對の位取で此處で受けを逸しては七七桂と跳ね込まれ五五に利かされ大變となる七三桂には六六歩なれば四四の出を狙つて決戰を覺悟した

△市川四段日く　七九玉は二時間近く考へましたが六六銀と打つては六四歩と突かれていけない、之を作られても止むを得ないので玉を逃げました

▲大崎八段評　先手五六銀右と交換を挑んだ自ら五四に銀を作り後手の急所が生じて大變手でやうし一桂二桂これば七五歩と強く出るべき自然特角が働けて優勢である後手五六歩は手筋で何人も思ひ出來ぬ五六銀と跳つて先手の急所を攻めて居るが後手も遠に優つて居る

臺日要覽

科目	金	土	木	水
	十五日	十四日	十三日	十二日
行先	五時十五分	五時十五分	五時十五分	五時十五分
着	十一時四十分	十一時四十分	十一時四十分	十一時四十分

藥種商　月やく　ポンカンとシヤポン　内地土産

臺北花柳細見　月下美人發行

寫眞アルバム　パテー反轉現像

寫眞材料　岡田寫眞舘

履物　荷揃

旅館　頂北投溫泉　櫛川館

陶器　松尾陶器店

洋服タンス　既製レデイメード　高級オーダー

雜件　洋服　品質第一　小倉毛皮なめし　洋式帳簿と繪葉書　時計修理　時計

唄ひ　ノーシン

キユーピー　マヨネーズ

不意の御來客に　毎日のお食膳に

職業　星名刺

公開欄

本欄は讀者の自由發言機關で本紙は不可▲一行は十五字六行以内▲投名氏名は別にても住所記入の事▲取捨は本社にあり

惱まされる朝の噪音

一獨學生

◇都市の學音防止に就いては種々議論の喧しい時代に、此處島都の朝の靜寂を無意義に打壞はす、怪音がある、それは外でもない、あの豆腐屋達の打吹す、ベルの音だ

◇彼等の極行開始は大抵五時半頃からで、先づ大かの金魚賣の高調子な聲も不規則な護謨を突刺すかの樣な悪るベルを打振りつつ來と一周する、間もなく或は一緒に或は別々にBDもやつて來る、前後等で各自第一回第三回の訪問を敢行し晉も馬鹿先きに驚起させ、次いで此の二回に足らない間に十數個々二時間に足らない間に十數回もベルを鳴して來る、相當線の太い連中でも青々して來らざるを得ない、此連も知らず識らずに神經質にされて來る、時は都かなるべき早朝である、或者は晩を惜んだ風に一刻千金を誇つてゐるだらうし或者は透徹した朝の頭腦を眠氣に或は書見に費してゐるであらう、何れにしても貴重な時である

◇それだのに、豆腐一丁油揚一枚買るのにことさらしく人を急き立て、許多迄せる内地では驚異や迷惑の點合の惡彼や焙薬を知らせるベルを早朝から振鳴すなんて學者好みの人は知らず内地人には甚しい迷惑以外何物もないのだ、内地豆腐であるからには納豆は生として内地人の晉だから是非ともベルは廢止させて内地で聞く樣の下の夢の樣な笛の音が長閑な肉聲に之を換へたい

◇それには醫務當局から一應組上の理由を被等に知らして注意をする一方團客にも吾々が結束してベルを鳴らす事は一切罷りならぬ事を觸れ込めば宜しいだ、この點の處置は當局者の御考慮を煩はしたい

「昭和新選組」のSP上映具體化す

パ社の配給は見込薄

村田監氏等の新映畫製作第一回作品「昭和新選組」は既に新春のSPチーン封切と呼稱してゐるが未だ正式な契約も成立してゐないし、これが具體的な話合は作品完成後に俟にねばならないから、目下の處新映畫社の動きが二轉

新映畫社 のスタート

日活製作部長

小市民

原作……宣夏子
脚色……倉田文人
撮影……内田誠一
舞子……伏見富子
ソノ姉真也……尾上助一郎
ソノ妻芳枝……相良愛子
隣夫……井染四郎
ソノ妻おみつ……五月潤子
川崎の母……須藤恒子
娘綾子……宇田川幸子
弟二郎……中村英雄
隣嫂根……明智三郎
佐脇夫人……吉田照子
メンサー……曾我阿以子

【コーガイ】

小市民とは何か、それは自分及び自分の周囲の僅かの人々の安易と平隠をのみひたすらに守り通ふ心である、今は亡き父親の永年の保険づとめの賜物である過眠扶助料をたのみにつつましく暮してゐる二家族があつた、一つは須田ミツとその息子秀夫であり、二つは東芳枝と舞子の二家だつたある日オミクは扶助料を郵便局へとりに行つた時自分の無智の故に代理をしてもらつた舞子をしみじみと不二映畫を根據として實演に出た渡邊、横尾龍海男、吉谷久雄の喜劇映畫プロダクションは近頃の如く中野かほる、南條里子を加へ第一回作品は「愉快な惡漢」と決定配給は日活が引受け、年内撮影を完成し新春封切の豫定でキャスト は左の如し

原作脚色……守田正之、監督……西尾佳雄、撮影……山口良雄、俳優……渡邊龍尾、横尾龍海男、吉谷久雄、南條里子、中野かほる、帶谷……ほかキネマ俱樂部、スタヂオ、サー

ヴイス(KSS)により同映畫の撮影に入り、十六日の三日間富北溪畔で「名物男」完結篇の撮影を行ひ、十七日より東京に歸つて、目下製作中の日活多摩川撮影所に於て最後の仕上げをなす筈である。

新刊紹介

◇東西幽靈考(藤澤衛彦著)　死んで我が國の旅の上の死者の國に行くと考へられた思想は一方に於ては死後の運命に對する興味と共に、死者の死後の姿の想像と著しく關聯した生活の世界と交渉を持たしむるに至つた、要之が多神教的傳統の所産である所謂妖怪變化と相俟つて今日の多岐多樣な妖怪をでつちあげたのである、尚本書は斯る點に於

日本喜劇映畫プロ第一回作『愉快な惡漢』

配給は日活が引受る

ボビー・ジョンスの ゴルフ映畫前篇入荷

ゴルファン期待のもの

ゴルフ界のナンバー・ワン・ボビー・ジョンスの「ゴルフの神髓」のうち「ハウ・アイ・プレイ・ゴルフ」の全十一卷はワーナー日本支社に入荷されたが、この映畫は

ゴルフの手ほどき。ブラ

ブの握り方からスウングをスローモーションで說明したものでドライヴアニプリックの使ひわけ、スプンの好適例、用法等ゴルフファンには特に期待されてゐるもの

時事七題

臺北　小松松濤

立てよ銀州味方は日本

野原な國境は狹で來い

踏み立ちに來つた若い二人は總ちあはぬ、悪にたにたものを感じ始めた、駒夫の母おミネも東京へ嫁入に出かけたが雪子の母方伎は駒夫の家よりも少し暮しがよいので雪子をとつかすることを欲せずアルチユアの總帥根にとつかせたく思つてゐた、たまゝサガを雪子の見合場所に舞踏會を選んだのも駒夫とする佐藤夫人で、ある、駒夫の面をまつすけ様として駒夫はそれを雪子の考へだと、ところがごかいして感激を與つた、ところが駒夫は雪子に家が世帶になつた川崎家の面倒を見てやる様になつた、川崎家の母親の死の原因が駒夫と雪子の思ひがけない合合に二人の戀愛も破滅してしまつた、二人は共通の感激と憂愁によつてしつかりと結ばれて行つたこの二人の若い戀の邊ろに矢張りアルチユアを滑した若いた二人の世界がほんとうに強つて行つた(劇團は伏見富子と林栄(劇)

名家臨時手合將棋

(五)

手合　四段　△樋口義雄

先　四段　▲市川一郎

△樋口氏(特駒)　歩歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	二
桂		歩	歩						三
歩	歩			歩					四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角			馬			飛		八
香	桂	金	銀	玉	金	銀	桂	香	九

(臺北高等女子校の圖面)

▲市川氏(特駒)　角歩歩歩

▲六六銀△三三銀▲五五銀右△同銀▲同銀△五六歩▲四六銀△七三桂▲七九玉

△市川四段日く　六六銀は位を歩つて▲四歩を絶に利せられては大變で四四の出を注意すべきである、五五銀右は急な作戰もないので五三銀の打込みを作る意味を狙つてゐる

▲同四段日く　五六歩は絶對の位取で此處で受けを逸しては七七桂と跳ね込まれ五五に利かされ大變となる七三桂には六六歩なれば四四の出を狙つて決戰を覺悟した

△市川四段日く　七九玉は二時間近く考へましたが六六銀と打つては六四歩と突かれていけない、之を作られても止むを得ないので玉を逃げました

▲大崎八段評　先手五六銀右と交換を挑んだ自ら五四に銀を作り後手の急所が生じて大變手でやうし一桂二桂これば七五歩と強く出るべき自然特角が働けて優勢である後手五六歩は手筋で何人も思ひ出來ぬ五六銀と跳つて先手の急所を攻めて居るが後手も遠に優つて居る

臺日要覽

科目	金	土	木	水
	十五日	十四日	十三日	十二日
行先	五時十五分	五時十五分	五時十五分	五時十五分
着	十一時四十分	十一時四十分	十一時四十分	十一時四十分

藥種商　月やく　ポンカンとシヤポン　内地土産

臺北花柳細見　月下美人發行

寫眞アルバム　パテー反轉現像

寫眞材料　岡田寫眞舘

履物　荷揃

旅館　頂北投溫泉　櫛川館

陶器　松尾陶器店

洋服タンス　既製レデイメード　高級オーダー

雜件　洋服　品質第一　小倉毛皮なめし　洋式帳簿と繪葉書　時計修理　時計

唄ひ　ノーシン

キユーピー　マヨネーズ

不意の御來客に　毎日のお食膳に

職業　星名刺

漢文 臺灣日日新報

引證英美派兵之事 為日本對滿洲派兵尤少

聯盟總會第三日

松岡代表大演說

八日午前十時總會。有左記諸代表演說。

松岡代表（日本）

交談數分間。頗稱其熱誠。

加奈陀代表演說後。

出身。乡是貧困階級之人。

牙來博士（加奈陀代表）

稱荒木陸相支配日本之攻擊。

余想以律敦報告。為本紛爭解決基礎。德意日諸國。訴諸和協手段安陀亞氏（智利代表）

亦梅辱日本之甚者。

棉成十九國委員會之國及美俄等二十一國。對聯盟及不戰條約之原則公正適用與否。有重大關心。聯盟之義務。須遵奉規約精神而行動。

余對於松岡代表之演說。保留辯駁權利。

丹下斯將軍（匈牙利代表）

前演說者。引用余演說中之事。為對余非難材料之基礎。可憾。若諸君通讀律敦報告。則發見對日本不公平之記述。

勾牙利永久欲救日華間札葛。不論如何解決案皆欲支持之。

余對一代表在本總會。

武爾斯氏（澳洲代表）總會不可不以和協的方法進行。

前演說者。引用日本對滿洲行動。乃極遺憾的而日本照條約。駐兵滿洲。盖當受中國侮辱。遂被蹂躪。今者我等。滿洲侵略之非難。而聯盟加盟一國。若受其隣邦侮辱非難時。而保證之。乃聯盟之義務。余以報告書。於不一致理有一致之言辭。有幾多矛盾。余非欲非難調查團者。何則。以五人委員。不能作製完全報告書。夫報告書之性質。使日本不能容認報告書之性質。日本信無侵犯聯盟規約不戰條約。九國條約等。小國謂日本於滿洲行動。損傷規約威嚴。然此等無須憂慮。要之。余同意小國諸君。陳述大原則又察文文郎兩氏所述問題之複雜。全然同意採用小國使喉。有反聯盟利益。今日之聯盟。決非完全者。我等信美國必加入聯盟。依平和條約。加入聯盟。故美國不加入聯盟因有利已的利害。故日本信其不加入。夫美俄不加盟聯盟。日本何以加入聯盟。盖欲貢獻世界平和。此方有俄他方有英。此間獨力張閥。余主使極東不起戰爭。余主張聯盟規約有伸縮性。

某國代表。以日本人比他國民。許為小國民。若非論體躯。則吾人為不劣於他人種之大國民。主張以聯盟為自己生命線。希諸國記憶滿洲為日本生命線。然滿洲依日本開發。比中國太更佳。然對代表各位。滿洲國三代表丁士源等三氏目下滯在齊府。欲喚起注意。全日本國民後援日本軍之上。而滿洲行動。六千五百萬之日本國民。皆一致團結。諸君以此為日本國民發狂乎。日本以滿洲問題為死活問題。余等不脅威他。若有必要。日本不論何事皆敢為。縱滿洲還於中國宗主權下。則國民政府與舉良。回復維持其秩序。中國人自身。不可不決之。然此恐要長年月。報告書時間午前二時三十分）散會。

留一部艦船外 在馬公基隆待機

天候未回復搜查不便

馬公八日至急報。遭難地前六時。五隊。亦到遭難現場。與先到之北上。五十鈴兩艦協力。從事搜索。八日現場附近。風浪尚強。蓬萊水底翻轉式船三隻。亦到現場搜索。

十二驅逐隊 司令官巡視

八日午前十時。山內馬公要港部司令官。偕鈴木參謀長以下各幕僚。巡視第十三驅逐隊。

愛婦代表慰問

八日午前十一時。本間總長。偕警務課長夫人。代表慰問派遣。

基隆植物檢查所 移出柑類堆積如山

盆栽類亦大宗移入

內地歲暮贈答品最要之凸柑。朱欒類。因島內增產及內地定購增加。自前月末。移出內地激增。大體以來二十六七日為限度。于年內運到內地。每輪積載數亦漸增。以是基隆植物檢查所。最近每日申請檢查數。凸柑約一萬三千盆。朱欒五千粒。現存凸柑五萬粒。朱欒三萬粒。然倉庫收容力有限。以外不能受理。昨年檢查數。凸柑六十萬粒。朱欒五十萬粒。而今年山現狀增之。或突破六十萬粒。又最近由內地移入之溫州蜜柑。有發見矢根貝殺害蟲。此種決不可等閑。蓋與臺灣之瓜實蠅匹敵也。一面移入盆栽類。鉢植。並生花材料之松山梅。水仙。南天。葉牡丹其他。以二十日為最盛期。每船配入于島內各地者。數亦不少。而對此等檢查。不得已暫置十日前。準行結園式。弦于十日午後二時。假新公園旗場（雨天之際在樺山小學校講堂）。設「公設電話」於庄役場。則幸甚也。

小國決議案 決定不撤回

八日齊府電。決議案提出四國代表等。如既報。密議結果。決議案決定不撤回。

俄國釋放蘇炳文 許其往歐洲

蘇似欲往壽府

八日英斯科電。蘇俄聯邦。釋放反將蘇炳文。許其往歐洲。蘇炳文將赴齊府。

蘇炳文軍部下 用於極東土木事業

八日英斯科電。蘇俄政府監禁中蘇炳文。及其主要幕僚釋放。許往歐洲。其他被監禁者依自己希望。止於極東新土木事業。蘇炳文目的地。雖未發表。然據消息通。謂欲往齊府。又宜遵否定馬占山在聯邦內之報道。

梧棲街長陳明貴氏急死 清水街長楚氏述其狀 一命亦險嗚呼

大甲郡梧棲街長故陳明貴氏。去四日。為參列臺中縣下三塊厝典茂林氏宇。在飲宴會。是晚同棲。因在時急延臺北官醫。為之救治。及延臺中病院看護婦。為之照料。至去七日。始能言語。各地知友聞及。急往現場。於八日午後二時到著。天候亦全回復。已如前報。受命之曾我丸。乃立著手搜查作業。目下田村丸。第二葵丸及發動機船高雄丸。草山丸五隻。基隆本店。尚無有何入電詳細不明。

基隆驛盜難案 二內地人老媼目擊 犯人為島人男子歟

自行檢查修理。九、派壯丁巡閱火擦引火諸物。使其收拾妥當。

沙鹿安良間 線路延長

決至海埔厝

桃園諸武陵林滄富之石炭山小學校講堂。集行本市聯合少年團結團式云。

基郡下庄長 磋商會

十日郡會議室

基隆郡庄長事務磋商會。初按定十日。嗣因郡便宜上。變更為來十二日午前九時起。開於郡會議室。其諮問及協議事項如左。

▲諮問事項。一、公民自覺力喚起振作之適切方策。二、綴既往徵稅納績。俾向上具體案方策。三、窮民自力更生之具體的匡救策。

▲協議事項。一、庄治振興第一計畫。二、諸農家副業之改善。三、不景風之吹入。我蚕既非日淺。是故欲確保生活之安定。本業之外。非兼副業不可。希庄長乘此重任良機。實行「副業奨勵」（如草袋、草紙繩等）以濟庄民之經濟。四、每年入學難之我石岡公校。去年反被淘汰一學級。誠對初等教育之脅來不勝遺憾。祈庄長盡心。向當局陳情。以期增級。

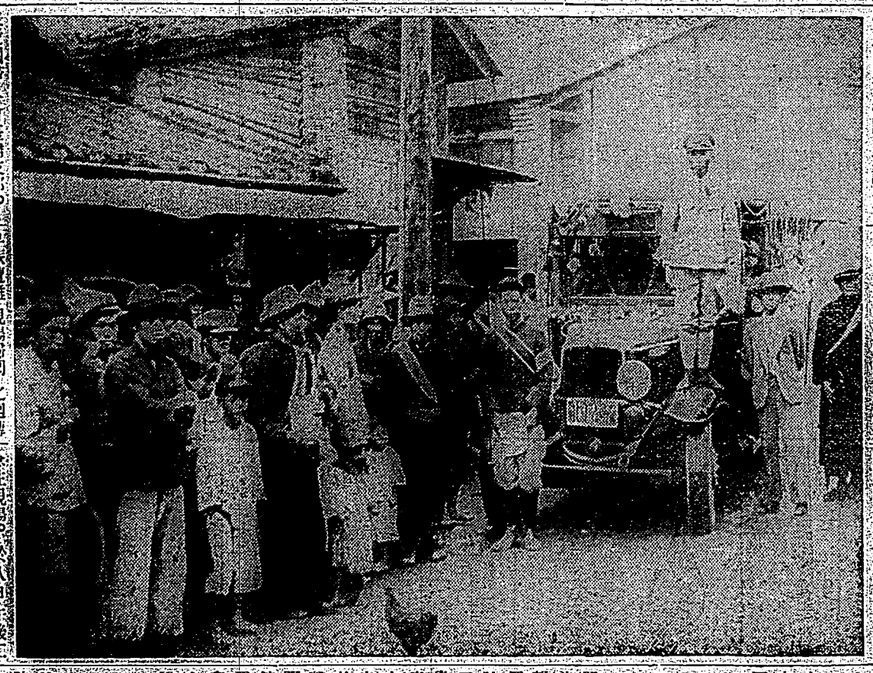
臺北市聯合 少年團結團

臺北市內小學校附設少年團外。悉于日前。準行結團式。弦策。

桃園武陵大火 午前二時燒至五時 官民夢中驚醒撲滅

桃園武陵林滄富之石炭場。去九日午前二時餘。石炭堆發火。延燒炭棧。及製傘工場。住家數間。全部灰燼。當大火時。附近精米所之汽笛。鄰之報午機。各長鳴。街中人。及警官等。皆於夢中驚起。極力消火。然因火勢太猛。故不易消火上。變更為來十二日午前九時起。開於郡會議室。其諮問及協議事項如左。

▲諮問事項。一、庄治振興第一計畫。二、諸農家副業之改善。三、不景風之吹入。我蚕既非日淺。是故欲確保生活之安定。本業之外。非兼副業不可。希庄長乘此重任良機。實行「副業奨勵」（如草袋、草紙繩等）以濟庄民之經濟。四、每年入學難之我石岡公校。去年反被淘汰一學級。誠對初等教育之脅來不勝遺憾。祈庄長盡心。向當局陳情。以期增級。



（寫眞在景美宣傳實況）

文山郡交通 安全週間

大規模宣傳

文山郡。此次設交通安全週間。特於新店。景美。公館各要路。建大綠門。夜點電燈。又於各公學校前。及各要路。安置徐行標識。及指導木標招牌。警察官。凡百數十。竭各小公學童。關交通唱歌。作文。圖畫。標語。童謠。皆所以徹底普及其智識。止役場。小公學校。保甲。壯丁團。青年團各役職員。去五日起。多出援助。裝飾各交通機關。而自動車凡數十臺。分乘宣傳。自都役所前。經景美。公館。至深坑。及新店。四處巡傳。又訂最後十一日。郡守。警察課長。以下警察。巡行各部落。警察官。立於陣頭指揮。使人民目擊心知。七日保甲民。交通行列。凡千數名。中有假裝者。一般行人。各行左側。肅至安全。究此週間中。每日各有指導訓練。目壯丁保甲。及青年各團。數十隊。分乘宣傳。自都役所前。經景美。公館。至深坑。及新店。四處巡傳。又訂最後十一日。郡守。警察課長。以下警察。巡行各部落。警察官。立於陣頭指揮。使人民目擊。（寫眞在景美宣傳實況）

臺中市人口 突破六萬

年增二千人

臺中市人口。每年增加約三千餘。而本年因前此大屯郡銀屏部。郡廳部一部編入。增加五六千人。為是十二月一日現在。總戶口二萬三千八百五十六戶。人口六萬一千五百七十七人。

中研農業部 晚稻增收

品質亦好

中研農業部晚稻耕作第六回調查報告。本秩苗期氣象狀況概好。生育順調。而得強苗。插秋後活著良好。生育順調。八月中下旬。雖見發生螟蟲。而不至蔓延。八月二十三四兩日。暴風雨來襲。而少被害。同下旬至九月上旬。內地種穗孕期當時。登雨。內地種臺灣種。各比前年及平年。氣溫稍低下。日照時亦少數。影響。其後天候順調。結實狀態良好。內地種嘉義者紀本峻氏。在同部事務所。開始磋議一面。果由地種臺灣種。各比前年平年多收穫。粟及糯米之容量亦重。挨粟率亦多。一般部主人。事決之翌日。設法修繕是路橋。不日可得通云。

宜蘭 交通安全

宜蘭郡警察課為圖交通安全。後二時。警官及壯丁團員多數出動。以自働車為先導。巡行市內。及自轉車數十臺。巡行市內。宣傳主旨之傳單。

募集古衣

宜蘭郡方面委員聯合會為年末襲慮貧民。者番對一般二十。募集古衣。不論。內衫。褌。浴衣。和服。本島服等。均歡迎。限二十日。向市內各方面委員處。多多申入告願。以資恩與云。

鹿港 望改市區

彰化郡鹿港街。為繁榮中。惟一暗黯之市街。前任陳街長。常苦手許。從市區改正。因遭一部分街民反對。謂宜保存惟一。多羅拔師。共都拔師。與來由。府土木課。小野技師。與山拔手等。調查計畫中。略既就緒。依通過都市計畫委員會。便將施行。然街民陳夫等中。亟亟中州時。曾激勵斯街長。命計畫市區改正。並調查可以為漁港。疲貿易港。可能性之有無。夫鹿港衰微之最大原因。無論係基於無港灣之設備。船不得駐港。故欲圖鹿港發展之根本策。須修築漁港。以發展貿易貿易港之價值。自事中州立。水路試驗場。設立以來。有試掘試驗船。立九之定案。頗可刺激。建造設計機船之機。鹿港為海濱之陸起。及土砂之埋沒。港內遂淺。不便於繫留船舶。驗是日就衰退。加顧氏長崇中州時。曾激勵斯街長。命計畫市區改正。並調查可以為漁港。疲貿易港。可能性之有無。夫鹿港衰微之最大原因。無論係基於無港灣之設備。船不得駐港。故欲圖鹿港發展之根本策。須修築漁港。以發展貿易貿易港之價值。自事中州立。水路試驗場。設立以來。有試掘試驗船。立九之定案。頗可刺激。建造設計機船之機。鹿港為海濱之陸起。及土砂之埋沒。港內遂淺。不便於繫留船舶。驗是日就衰退。加顧氏長崇中州時。曾激勵斯街長。命計畫市區改正。並調查可以為漁港。疲貿易港。可能性之有無。夫鹿港衰微之最大原因。無論係基於無港灣之設備。船不得駐港。故欲圖鹿港發展之根本策。須修築漁港。以發展貿易貿易港之價值。自事中州立。水路試驗場。設立以來。有試掘試驗船。立九之定案。頗可刺激。建造設計機船之機。

希修漁港

望改市區

彰化郡鹿港街。為繁榮中。惟一暗黯之市街。前任陳街長。常苦手許。從市區改正。因遭一部分街民反對。謂宜保存惟一。多羅拔師。共都拔師。與來由。府土木課。小野技師。與山拔手等。調查計畫中。略既就緒。依通過都市計畫委員會。便將施行。然街民陳夫等中。亟亟中州時。曾激勵斯街長。命計畫市區改正。並調查可以為漁港。疲貿易港。可能性之有無。夫鹿港衰微之最大原因。無論係基於無港灣之設備。船不得駐港。故欲圖鹿港發展之根本策。須修築漁港。以發展貿易貿易港之價值。自事中州立。水路試驗場。設立以來。有試掘試驗船。立九之定案。頗可刺激。建造設計機船之機。

竹州保安課 防火宣傳

竹州保安課。以來十日為防火日。照下列要項。齊施宣傳。一、利用自動車脫車等之交通機關。高揮火之注意之標識。二、訓諭學童。關於防火事項。喚起各戶。防火。三、利用會社或工場汽笛齊鳴。社寺一齊打鐘。四、工場。病院等處。對從業人員。訓示防火事項。五、利用料理店飲食店等處。交付防火注意書。六、利用興業場。揭出火災防宣傳之標語。七、有森林可處地方。訓示牧童注意。或上墓時。使注意燒化銀紙。八、掃除煙筒。併其因此發火。

信魚登市

臺南市花園町吳姓大宗祠。訂本十二日上午十二時。舉祭典。值魚登市。此魚來迎。魯希多至回饋各十日。過後皆稱倒頭魚。梁來波山。本年來迎魚較早。當為八日中。因暴風吹來。天候惡劣。以是早迎。然捕獲量不甚多大云。

地士來南

岡野地士。去八朝七時來南。州教育課長宮尾民間課長。視察市內各中等學校。以後泊于鯉前常盤旅館。翌早逃高雄去。

吳祠舉祭

臺南市花園町吳姓大宗祠。訂本十二日上午十二時。舉祭典。值魚登市。此魚來迎。魯希多至回饋各十日。過後皆稱倒頭魚。梁來波山。本年來迎魚較早。當為八日中。因暴風吹來。天候惡劣。以是早迎。然捕獲量不甚多大云。

地士來南

岡野地士。去八朝七時來南。州教育課長宮尾民間課長。視察市內各中等學校。以後泊于鯉前常盤旅館。翌早逃高雄去。

會社

▲臺北醫專。顧生技師岡野文雄氏。今回辭職帰南部各地。定十二月中旬九時。自臨于臺北醫專。顧生技師岡野文雄氏。今回辭職帰南部各地。定十二月中旬九時。自臨于臺北醫專。

人事

▲高洲陽大同醫院長。黃子欽氏月前歸臺。與臺北洪醫。女兵是女醫黃女士歸鄉。九日納彩完聘。堅在新洲鄉舉行婚式。黃氏為陽芳公醫黃慶長男。臺北醫專出身者。在赤十字社研究數年。滿願開業。女士係靜修女學校。及醫專女學校出身云。

▲臺北醫專顧生技師岡野文雄氏。今回辭職帰南部各地。定十二月中旬九時。自臨于臺北醫專。

公開投稿

希望石岡庄長 為庄民鼎力之

（靜光生）

自由投稿可否一取文字一取主義所述名意不投任何人所述名意不投任何人原稿不還本社概不關係

處在石岡庄。為庄民一分子。關於庄中的事情。無論常不常。常今當月生。各而已。故希庄長乘此機會。

西螺 晚粟昂騰

西螺特產。晚粟地帶。自十月中旬。說為新註（二）後舉手。盛南市內保正。溫期文固。某保甲事記有十數名。每日晚牛車運搬上市。修與其心服。明比為好。每千斤遂落稻。六十圓。在來種五十三圓。九圓粟。有八十四圓。況陸米粟每千斤。加有十三圓之譜。如每日市內。各製米工場。由當郵送出之米俵。有十萬俵。內地種穗孕期當時。登雨。內地種臺灣種。各比前年及平年。氣溫稍低下。日照時亦少數。影響。其後天候順調。結實狀態良好。內地種嘉義者紀本峻氏。在同部事務所。開始磋議一面。果由地種臺灣種。各比前年平年多收穫。粟及糯米之容量亦重。挨粟率亦多。一般部主人。事決之翌日。設法修繕是路橋。不日可得通云。

臺南 宜蘭

交通安全

宜蘭郡警察課為圖交通安全。後二時。警官及壯丁團員多數出動。以自働車為先導。巡行市內。及自轉車數十臺。巡行市內。宣傳主旨之傳單。

募集古衣

宜蘭郡方面委員聯合會為年末襲慮貧民。者番對一般二十。募集古衣。不論。內衫。褌。浴衣。和服。本島服等。均歡迎。限二十日。向市內各方面委員處。多多申入告願。以資恩與云。

鹿港 望改市區

彰化郡鹿港街。為繁榮中。惟一暗黯之市街。前任陳街長。常苦手許。從市區改正。因遭一部分街民反對。謂宜保存惟一。多羅拔師。共都拔師。與來由。府土木課。小野技師。與山拔手等。調查計畫中。略既就緒。依通過都市計畫委員會。便將施行。然街民陳夫等中。亟亟中州時。曾激勵斯街長。命計畫市區改正。並調查可以為漁港。疲貿易港。可能性之有無。夫鹿港衰微之最大原因。無論係基於無港灣之設備。船不得駐港。故欲圖鹿港發展之根本策。須修築漁港。以發展貿易貿易港之價值。自事中州立。水路試驗場。設立以來。有試掘試驗船。立九之定案。頗可刺激。建造設計機船之機。

希修漁港

鹿港為海濱之陸起。及土砂之埋沒。港內遂淺。不便於繫留船舶。驗是日就衰退。加顧氏長崇中州時。曾激勵斯街長。命計畫市區改正。並調查可以為漁港。疲貿易港。可能性之有無。夫鹿港衰微之最大原因。無論係基於無港灣之設備。船不得駐港。故欲圖鹿港發展之根本策。須修築漁港。以發展貿易貿易港之價值。自事中州立。水路試驗場。設立以來。有試掘試驗船。立九之定案。頗可刺激。建造設計機船之機。

西螺 晚粟昂騰

西螺特產。晚粟地帶。自十月

日本史上唯一無二の大慶事

臺灣日日新報

日本人發行最古の新聞　臺灣人發行最古の新聞　昭和七年十月二十日　共二十頁　定價金五拾錢

最大權威

東洋經濟新報

經濟雜誌界の最大權威　東洋經濟編

株式

會社かがみ

並に

會社研究の必讀書

これから良くなる會社は何か　財界大轉向の秋千載一遇の好機を掴め!!

二百三十餘會社の株價と利廻を附載　四百五十頁の大著

（菊判クロース金文字入）　定價金壹圓五拾錢（送料十錢）

株式會社

四百六會社の身元調査!!

決算表、系列圖、重役關係及び株主名簿及び營業の現況

五萬會社報告の儘を一覽に便ぜしめた會社總攬及び主要株主名簿

會社報告の儘を一覽に便ぜしめた會社　五百餘冊の集成に當る稀書!!

（菊判クロース金文字入）　定價二圓五拾錢（送料十錢）

日本戰時經濟の全貌

東株新日日々高低號覽

編東株相場を觀察するに從來の株界の前途がどうなるかを研究するが目的なるも株式相場は單に過去の東株相場の變遷のみにて將來の株界の前途を判斷し得ざるものなり故に株式相場を觀察するに當りては過去の東株相場の變遷をも參考とするの必要あるも過去

通貨膨脹政策の對策如何
先づ物價の昇騰に考へ及べ

一

物價がヒシ〳〵と目立つて上つて來たのは昭和五年の十一月中米金輸出再禁止の直後からで、爾來物價指數は前月に比し一割五分(一)原、六月に比べては實に二割一分五厘方の昂騰を示すに到つた、之れを更に慶應時代の基準指數に見ても十一月中平均指數は一四四ポイント八五で前月より二ポイント六四高く、殊に昨年九月中旬以來僅か三箇月半の間に二割四厘の暴騰を示したことは、實に驚くべき物價の昂騰ぶりである。

五厘の昂騰を示したことは、實に驚くべき物價の昂騰ぶりである。

この驚異インフレーションによる物價昇騰は全く消費者側を無視して上がるもので、先行きについて物價は未だ〳〵足らぬ昇騰の餘地があるとの見地から、いつぞやの「インフレーション頂戴出來やうからなどの考では時局に直面してひどいめに會ふことと思ふ、國民も政府當局もインフレーション現象に對する認識を改めねばならぬ。只今の物價の根本問題は結局國民購買力の減少にあるのであらうが、現在の如く昇騰は商品市場を賑はし個々の會社や商人に不當な利得を與へ、いつぞやの「インフレ

新竹州蕃地で緬羊試育を行ふ

中研山田博士が十頭を携へ

その成績注目さる

中央研究所にては標高二千尺以上の蕃地に於ける緬羊を各地に配付し成育試験を行ふ事となり山田博士は十二日緬羊雌雄十四を携へ來新州廳着二泊下げ

の手續きを爲し十三日から竹東郡下蕃地シバノイに入り蕃童管理に關したいと

衆として大きな問題であり關係者にても慎重な管理に依り成功せしめる計畫なる旨を與へる筈となつてゐるが之が成否は蕃地將來の開

インテリの妻が苦力に凌辱さる

姙娠して遂に表沙汰となり

昨日臺南法院で無罪の判決

【臺南電話】臺南州下某街某氏妻（二十）は夫會社勤務の際會社支店に在勤上京して不在中昨年六月十七日午後三時頃附近の醫中で懷妊中會社苦力某に强姦されたといふのであるが、その間の事に不滿分となつて無罪となつたものである

官蘭商工會の解散を決議

八日、街有志參集の上で

【宜蘭電話】八日午後二時より宜蘭郡役所樓上に於て宜蘭商工會の解散を決定し、新たに宜蘭實業組合を作る事に決議をとげ午後九時散會した

東港で初鰡

漁夫連潮く活氣づく

七、八兩日頃より氣溫約二十度も低下し風さを增したので七日頃より十二月末迄は鰡魚內外で二萬斤を見て初漁あり俄に活氣を呈して居る

高雄でも豐漁

鰡の相場は昨年より安い

【高雄電話】高雄市州の鰡漁は鹽燒引繼後は一尾約五十五錢見當で昨年に比し二割方高價を示してゐるがこの漁獲によつてボラ〜新カラスミも市場に現はれたが目下小數相場は約三圓見當で昨年より若干の安値である

飛機爆撃演習

十一日より行ふ

鳳山郡下淡水溪右岸で

【屏東電話】第六飛行隊は十二日より四日間午前八時より午後四時迄の豫定で飛行場の南方屏山麓の下淡水溪右岸を中心に第一回爆撃演習を實施するが、敵軍は內山中隊で爆撃者は奈良大尉、大西、富永兩中尉、伊藤、服部の四機、爆撃者は內山中隊で爆撃者は奈良大尉、大西、富永兩中尉、伊藤、服部の四機、爆撃機は單發機で代用艦爆撃機と合せて九十發宛であると

臺中州警察官巡閱射撃會

一郡より四名の代表を選び

【臺中電話】警務部長は過般の管內警察官巡閱から四名の代表者を選拔し十一日三井

師走に入つて紅茶の製造

內地からの註文

新竹廳內茶業改良組合にては臨時總會を開き紅茶と緑茶の試驗に著手してゐるが之が爲め龍潭に著手してゐるが之が爲め龍潭方面から生葉を百斤四圓原至六圓で買ひ取ると云ふ有樣を呈し製茶百斤二十圓原至二十六圓に當り製造してゐるが製品としては十二月に入つてからの製茶は餘りよくない事である、右は當業關係の製內地の紅茶が提携したのと緑茶は製造方面に餘出され

花蓮港街の氣溫低下

山は淡雪の美觀

【花蓮港電話】九日花蓮港の氣溫は午前五時九度五分に降し二三日來周圍の連山は銀嶺雲に閉ざされて見えなかつた九日朝雲が四千尺以上の山々は薄雪の美

阪尻君歸る

【花蓮港電話】花蓮港街から上海事變に出動した阪尻（德藏）部隊第九師團歸還に際し今回の歸還に所屬し今回の歸還船にて歸花したが花蓮港に上陸するや百名の同君を出迎へる爲め早朝時刻から歸國まで參着、會社、婦人會、在鄉軍人、女學校、小學校生徒總出迎をなし當つて堤防廣場で同君の凱旋をし三唱したが同十一時半から國葬會館にて歡迎會が催され會場に溢れる程盛會裏に歡迎の辭を述べ同君は官民一體となつた今回の事變に於ける國民的覺悟に關し有意義な講演をなし午後一時半から同

ラヂオ・プログラム

今日の番組

J.F.A.K　十二月十日(土)

午前の部

【六・二〇】朝の挨拶・ラヂオ體操
今日のお天氣のお知らせ・臺北測候所報告
【八・〇〇】家庭百科問答(△新米と古米とどちらが發藝があるか△ラヂオのスクラムとは)
【一〇・〇〇】家庭料理献立　栗原
【一〇・一〇】婦人の時間(臺北)
【一〇・四〇】婦人の手藝(臺北)
【一一・〇〇】日語小說(臺北)
【一一・二〇】臺灣の民謠(臺北)
【一一・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【一二・〇〇】正午の時報・氣象通報(臺北)

午後の部

【一二・〇五】臺灣の音樂(臺北)
【一二・二〇】ニュース
【一二・三〇】放送局間連絡
【一二・四〇】演藝時間(レコード)
【一・〇〇】婦人の時間(臺北)
【一・二〇】子供の時間(臺北)
【一・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【二・〇〇】講演(臺北)
【二・三〇】臺灣の音樂(臺北)
【三・〇〇】放送局間連絡
【三・〇五】演藝時間(レコード)
【四・〇〇】婦人の時間(臺北)
【四・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【四・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【五・〇〇】子供の時間(臺北)
【五・二〇】子供の新聞(東京)
【五・四〇】趣味講座・臺北「新聞の話(その三)」蒲田丈夫
【五・五五】カレント・トピックス(東京)ハロルド・パーマー
【六・〇〇】子供の時間(臺北)童話「飛行靴」元重信
【六・二〇】夜間の部
【六・三〇】國際時局特別講座　東京・其三國連盟脱退問題　主催赤松祐之
【七・〇〇】ニュース
【七・一五】小児の保健(東京)未定
【七・三〇】思出の花(東京)未定
【八・〇〇】忠臣藏花暦(東京)　谷天郎
【八・三〇】講話　家庭料理献立　栗原
【八・五〇】家庭百科問答(△新米と古米とどちらが發藝があるか△ラヂオのスクラムとは)
【九・〇〇】講演(臺北)
【九・三〇】臺灣の音樂(臺北)
【一〇・〇〇】ニュース
【一〇・一〇】放送局間連絡
【一〇・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【一〇・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【一一・〇〇】ニュース
【一一・一〇】放送局間連絡
【一一・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【一一・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【一二・〇〇】ニュース
【一二・一〇】放送局間連絡
【一二・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【一二・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【一・〇〇】ニュース
【一・一〇】放送局間連絡
【一・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【一・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【二・〇〇】ニュース
【二・一〇】放送局間連絡
【二・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【二・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【三・〇〇】ニュース
【三・一〇】放送局間連絡
【三・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【三・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【四・〇〇】ニュース
【四・一〇】放送局間連絡
【四・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【四・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【五・〇〇】ニュース
【五・一〇】放送局間連絡
【五・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【五・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【六・〇〇】ニュース
【六・一〇】放送局間連絡
【六・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【六・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【七・〇〇】ニュース
【七・一〇】放送局間連絡
【七・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【七・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【八・〇〇】ニュース
【八・一〇】放送局間連絡
【八・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【八・四〇】臺灣の音樂(臺北)
【九・〇〇】ニュース
【九・一〇】放送局間連絡
【九・二〇】臺灣の音樂(臺北)
【九・四

不渡客と公示
ニロカーの統制案
取引改善方法を協議
正米市場の臨時総會

経濟解説
米穀統制問題
―その主旨と現狀―

組上に曜る
一流信度の五分五厘
遂に實現す
時代パア

景氣を映す
酒煙草の實行
十月は何れも好成績

一月中移出砂糖
十七萬千五百噸

洋傘輸出組合
設立許可書【大阪】

倉敷紡組合
役員選擧【倉敷】

沙汰止み
無鑑査で

日清紡配當
新株全部

一月中移出米
參萬千百三十噸

參院豫算案
各枯りし飛一流商業の活況

上海金融
收束せらる

公債
東京團

株式
東京團

銀塊
倫敦

砂糖
現物

米穀
大阪

綿絲
大阪

棉花
大阪

綿絲
横濱

生絲
橫濱

肥料
東京

小麥
神戸

米
神戸

米
大阪

米
正米市場

米
堂島

沈
九日

鳥
大阪

反落
堂島

沈
堂島

米
堂島

沈
堂島

綿絲
大阪

棉花
大阪

綿絲
大阪

綿絲
橫濱

生絲
橫濱

肥料
東京

小麥
神戸

米
神戸

米
大阪

米
正米市場

米
堂島

沈
九日

鳥
大阪

反落
堂島

沈
堂島

米
堂島

沈
堂島

八年後のオリムピックに世界制覇を企圖する
「全日本陸聯の八年計畫」

目標

第十回國際オリムピック大會の總督と世界陸上競技界のすう勢に鑑みて八年後の第十二回大會即ち日本に持つて來やうといふその大會では必ず陸上競技の世界制覇を敢行しやうといふにある。そして全日本陸上競技聯盟が今後のオリムピックに對する行動の總ては、この八年計畫に基礎をおくものであつて、四年後一九三六年のベルリンにおける第十一回大會に臨む方針もこの八年計畫の一過程にすぎないものであると聞いてゐる。又第一回ベルリン大會に於ける擔當としては、陸聯競技の全部、即ち陸上、長距離、競歩等においては、各個と對抗競技等で一度ないし數度の國際競技會を實施して、國際的に實力を知り、同時に實戰の經驗を豐富にする事、これは今回オリムピック大會で活躍した選手のほとんどが、アムステルダムのオリムピック大會なり、學生競技會の歐州遠征なり、或は實、佛等を經驗した、對抗競技等で一度ないし數度の對外的實戰の經驗を積んでゐたが、これ等選手の大多數はロサンゼルスの大會を轉換期とするもので、四年後、八年後のオリムピック大會で我國の主力となつての基礎は期し難いのである。これ等の選手に代るべき新選手に對外的の實戰を積ませやうとするため、出來るだけ外國選手を招聘したり或は外國へ大いに遠征を試みやうといふのである。第五回國際學生競技大會がイタリーの都市で開催されるを見やうとしてゐるが、もし實現を見る事になれば、明年イタリー遠征のフーリン市或は明年第四回大會の候補地として擧げられてゐた、ハンガリーのブタペストで行はれるであらうといふにある

方針

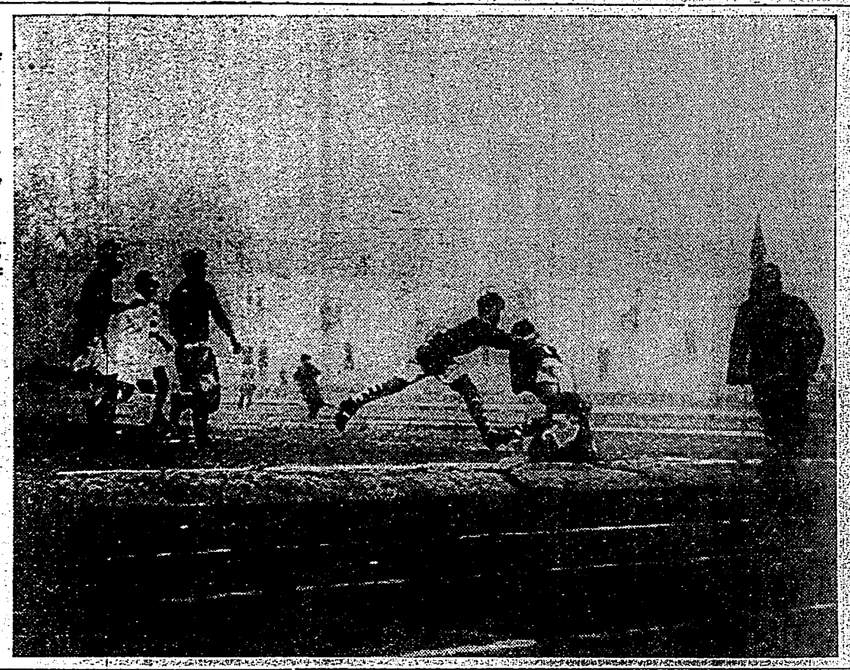
組織及び國内における各種競技會の整備一致協力して目的の達成に努力する事、これは現在我陸上競技界に實勢力を持つ、日本學生陸上競技聯合との合同問題を主とするもので、併せて女子競技の統一を計るといふことである。二、國際的に進出して、各國の情勢實力を知り、同時に實戰の經驗を豐富にする事、これは今回オリムピック大會で活躍した選手のほとんどが、アムステルダムのオリムピック大會なり、學生競技會の歐州遠征なり、或は實、佛等を經驗した、對抗競技等で一度ないし數度の國際的實戰の經驗を積んでゐたが、これ等選手の大多數はロサンゼルスの大會を轉換期とするもので、四年後、八年後のオリムピック大會で我國の主力となつての基礎は期し難いのである。これ等の選手に代るべき新選手に對外的の實戰を積ませやうとするため、出來るだけ外國選手を招聘したり或は外國へ大いに遠征を試みやうといふのである。第五回國際學生競技大會がイタリーの都市で開催されるを見やうとしてゐるが、もし實現を見る事になれば、明年イタリー遠征のフーリン市或は明年第四回大會の候補地として擧げられてゐた、ハンガリーのブタペストで行はれるであらうといふにある

實行

委員會を常設し、各方面から廣く人材を網羅して、オリムピックに關する主として實戰の任務に當らしめ任期は四ケ年とす、右の如き實行方法を以て、陸上競技界の八年計畫、世界制覇の偉業を完成しやうといふのである。從來もオリムピック聯盟委員會なるものはあつたが、常設的のものでなく、オリムピックの前年に組織し、オリムピック選手選擧を主として、從來の如く、ハンディキャップを免れない、我々日本人にとつてゐる。然しながら、日本はヤングと他數年の八年計畫なるものは、その間に開催された第四回極東大會が來る十二月に開かれる全日本陸上競技選手權大會を以て、その實行方法の三項目に分け明記してゐるものである

目的

第十回國際オリムピック大會の總督と世界陸上競技界のすう勢に鑑みて八年後の第十二回大會即ち日本に持つて來やうといふその大會では必ず陸上競技の世界制覇を敢行しやうといふにある。そして全日本陸上競技聯盟が今後のオリムピックに對する行動の總ては、この八年計畫に基礎をおくものであつて、四年後一九三六年のベルリンにおける第十一回大會に臨む方針もこの八年計畫の一過程にすぎないものであると聞いてゐる。又第一回ベルリン大會に於ける擔當としては、陸上競技の全部、即ち陸上、長距離、競歩等においては、各個と對抗競技等で一度ないし數度の國際的實戰の經驗を積んでゐたが、これ等選手の大多數はロサンゼルスの大會を轉換期とするもので、四年後、八年後のオリムピック大會で我國の主力となつての基礎は期し難いのである。これ等の選手に代るべき新選手に對外的の實戰を積ませやうとするため、出來るだけ外國選手を招聘したり或は外國へ大いに遠征を試みやうといふのである。第五回國際學生競技大會がイタリーの都市で開催されるを見やうとしてゐるが、もし實現を見る事になれば、明年イタリー遠征のフーリン市或は明年第四回大會の候補地として擧げられてゐた、ハンガリーのブタペストで行はれるであらうといふにある



＝早明ラグビー戰＝

早明ラグビー試合は四日午後一時半神宮競技場に於て主審清岡、副審大西、伊集院、早大側の先鋒に依つて開始されたが早大側の攻撃も益に空しく早八、六、十六、六明のスコアを以つて早大側の勝利に歸した、寫眞は後半一分早大千葉君設後のトライをたさんとする眞劍

壯快な冬の競技——
ラグビー蹴球の見方
初めて見る人のために

（3）

◇……永嶺一虎……◇

ロ、中衛（ハーフ・バックス）

前後衛共に優秀選手を揃したからハーフに其の人を得ないためチームの能が思ふ樣に行かぬ際が多い前衛から出た球を如何に手中のものとし、而も如何に速く後衛に渡すかがハーフの使命である、又それ丈け、至難の役であつて到底二人では行ひ得ないから二人或る人に分擔して行はれる關ちクラム・ハーフが地上の球を拾ひ身を屈して球をフライング・ハーフに渡れば彼更にクを有利な狀態にして後衛に送り攻撃の機會を作る、このハーフ二人の活躍がチーム全體の生命であると言つても過言ではない

ハ、後衛（スリー・コーター・バックス）は普通四人である、相手が強いチームで味方が常に防禦の位置に居なければならないやう際には五人として敵の攻撃に備へるうなこともある、又ハーフが四人で充分攻撃出來る

墨會

天命　鹽谷壽石

曙光

（182）

生方敏郎作
中野修二畫

平和な漁村（四）

春田は年賀狀を書きながら。

「除夜と云へば、東京に居れば、寺々から、百八煩惱の鐘が、鳴り渡るんだ。僕等あの鐘を聽きながら、年賀狀を書きつけたもんだから、鐘が鳴らないと、どことなく間が拔けて居て、除夜のやうな氣がしないな。」

と、澄江に聞つて、一人彼の女の知らぬ、東京の大晦日の夜の喧ひにあこがれた。

澄江は澄江で、春田の筆に墨を磨つてやつたり、硯箱の道具を取り出して、雜物などをしてゐた。

「中澤さんがいらつしやいました。」

と、知らせに來た。

春田が筆を置いて立ちあがると、澄江もつゞいて、二人で中二階を下りて行つた。中澤は茶の間で、

「でも、私もう、二十歳になつたぢやないの。」

「二十歳になれば爵位を下ろすのが、なぐも大人はやつぱり、爵上げがなかつたかある。」

「ふゝん、爵方はそんな事を知らなかつだの？」

「やつとも氣がつかなかつた。しかし爵上が取れたら、妙に間が拔けやしないかな？」

「でも、しかたないわ。大人になれば、誰でも、爵上げなんかしてやしませんもの。」

「さうだつたかな？僕は女の人を見るのに、爵ばつかり見てるものだから、さつぱり爵上げに氣がつかなかつたよ。」

と、春田は正直な事を云つた。

澄江は笑ひもせずに。

「そうよ。爵方は女の人でさへあれば、誰でも美しいと思つてらつしやるものですもの。」

「まさか、さうでもないがね、このお婆さんの姿物には、爵上げのあるやうに思つたがな？」

「そんな事があるものですか。お婆さんがちやん〳〵こさせてるのを、見損つたのでしよ、さあ、早く取つて下さいな。」

春田は、嬉な手付で、さも苦しさうに澄江の爵上げを下ろした。

「何んだか前の方が餘計よかつた樣だぜ。」

「でもしかたないわ。二十歳になつたんですもの。」

と、澄江は油ひを別強つて、鏡台の前に自分の姿を寫して見た。

「アハハハハ。」

と、中澤は不意に笑ひ出した。

「どうして、こんな事が安くなくて安くないですな。」

「どうして、女と一しよに居るのかねえ、中澤君、女と一しよに居るつて事は、僕等にすると、安くなくそうだが、常事者になつてゐていいものぢやあないんだよ。我々から見ると、君達獨身の者の方が、どんなに丹精で、楽ましいかしれないんだ。」

「そうもありません。昨夜から、寂寞でしたなあ。先生にましたなあ。」

「もう爵上げを下ろしてよろしいでせう？」

肺結核は
クレオソート劑や滋養劑では治らぬ

◇先づ主成分を討究せられよ◇

肺結核には澤山な藥があります色々と藥の名稱は異つてゐますが其の主成分は殆どクレオソート又は其の誘導體です此のクレオソートに解熱劑等を配して肺結核藥の新發見などゝ吹聽する藥もありますが過去に於て之の治肺效果を吟味すれば一目瞭然です結核を不治の病と人々に思ひ込ませたのは一體何が原因でせう？クレオソートに治肺效果がもう少し顯著であれば人々は結核は治るものなりとの信念を固めてゐたに違ひありませんこゝに大阪市立衛生試驗所・山口博士の苦心があるのですイブシロンの出現によつて的のない自然療法を唯一のものとした同病者に暗夜の一燈を授けたものです

◇認識せられよ　結核病者◇

病魔征服の爲めには最高の科學に據つて產み出された權威ある藥品を撰ばねばなりません從來種々な療法や養生又は數多の治療劑が現はれては消え消えては現はれ患者はその應接に遑も無い有樣でした要するに單に販賣商策に災ひせられ患者は藥效の無力に泣かされたのであります例へば榮養劑が結核藥の假面を被り強壯劑が堂々結核劑として宣傳せられ胃腸藥が治肺劑として大きな顏をしたり今日より見れば滑稽の極であります茲に新しく山口博士が拾有餘年苦心研究の結果イブシロンが發見されたのであります

イブシロンはフオルマリン獨特の殺菌力を基礎として創製せられ特に滋養劑として膨器榮養劑を配劑してありますから直接結核菌を撲滅します傍ら體質改善へと役立ちますゆゝ敢て他の滋養劑を補給する必要はありません又治療效果の的確な事は一時的治肺劑と其趣を異にし結核治療界に一新紀元を劃したものとして專門大家の賞讚を受け一躍結核治療界の王座を占めたるは偶然ではありません

◇健康者も結核發病を豫防せられよ◇

氣管支加答兒乃至は感冒の經過不良にイブシロンの處方が專門醫家の好評を受けつゝありますが是は單なる感冒でも經過不良の際は結核發病の擡頭と困果關係があるからと解せられて居ります健康者も前記の如く結核發病を懸念される場合又は患者と同居の家族の方々は結核發病豫防劑として御利用をおすゝめ致します

驚異すべき此の安價
約廿日量（粉末五瓦）二円七十五戔

大阪市立衛生試驗所
山口博士發見創製
イブシロン
內服新治療劑

◇斯界之權威五拾錄博士實驗推奬・文獻進呈◇

適應症
肺結核。肺浸潤。肺尖加答兒。慢性氣管支加答兒。喉頭結核。肺壞疽。喀痰多量。喀血。其他結核性諸疾患。

全國官公私立大病院御採用

價格

錠劑		
100錠（約6日量）		¥2.50
230（約18日量）		¥5.00
500（約43日量）		¥10.00
粉末		
50瓦（約20日量）		¥2.75
115瓦（約46日量）		¥5.50
250瓦（約100日量）		¥11.00
500瓦（病院用）		¥20.00

（りあに店頭國全）

發賣元　實易商社　大阪市東區道修町　振替大阪一三九三二
發賣元　合資會社　伊藤商店　東京日本橋區本町　振替東京一六六三
發賣元　株式會社　田邊元三郎商店　高師酒化學研究所製造元

山口博士著　肺結核療養法
本冊子は山口博士が十數年に亘つて續けられた研究の發表であります
文獻御請求の御方に無代進呈

粉白トーレ

愛する人のまごころで
貴女に美のすべてを捧げます。

レート白粉は

さあ！この白粉で
若さを
明さを
朗かさを
貴女のお顏に輝かせませう……ヨ

花園の如く
オレンヂ色・モヽ色
クリーム色・ハダ色
白色……の五種の流行色
花と咲きそろふ……

レート五色粉白粉
レート五色水白粉

發賣　平尾貴平商店

學良、義勇軍に對し錦州總攻撃令を發す

南滿を衝かんとする一方
人氣の回復をはかる爲

【南京九日發電通】確報によると張學良は義勇軍一、二、三、四、五名路軍一萬に對し錦州總攻撃令を發したと言はるゝ、學良は日本軍が北滿に在るため南滿を衝かんと夢見る一方第四次全體會議を控へ人氣を取らんとする策であると

日支兵衝突すれば責任は貴方にあり

我公使館から學良に警告

【北平九日發電通】山海關に於ける北平公使館附武官永津中佐は九日學良に對し交渉を以て日本軍は居留民保護のため必要なる措置を執つつあり、若し暴戻日支兵衝突の如き事件發生せばその責任は貴方にて負ふべきものである旨嚴重な申入れを爲す所あつた

北平天津間に學良が列車を準備

我駐屯軍も萬一を思ひ緊張

何柱國軍和平を申込む

【天津九日發電通】山海關の獨立旅長何柱國が過般來進撃中對日親善を説いてゐた山海關に向かつた我軍使が歸つたので八日夜關東軍參謀板垣大佐に會ひ山海關の戰況を報告を聞き又今後に於ける山海關の取扱ひ振りを聞いたが、其際彼は何もなく大部分を後退撤去に和平を申込んで來た

ブイは確かに早蕨艦のものだ

沈沒地點も見當はついた
草鹿北上艦長の談

拾ふことが出來なかつた、七日正午一隻のブイを拾つたがこれは確かに早蕨のものだと斷定出來た、其他には何等の手掛がないが而し大體見當はついた非常に確信を得た

天津市内に非公式戒嚴令

人心は極度に動搖

【天津九日發電通】山海關の衝突事件で全部隊は緊張し九日天津市内に非公式戒嚴令を布き保安隊員の數は平時の十倍を增加の百餘つて居ろ

【天津九日發電通】學良は如何なる目的か北平、天津間に十數列車の準備を命じ居るにより軍事的支那

興安省各地の政治警備を大改造

札蘭屯以西の公安隊を廢し
蒙古兵で保衛團を組織

【海拉爾九日發電通】興安省公署では各地に於て政治警備の實を擧げ治安の大改造が行はれてゐる、即ち軍隊の如き訓練を施した新に保衛團を設け警吉兵をして之に當らしめることに決した

滿洲里行列車九日から運轉

損傷ケ所も少く
從業員は無事

【ハルビン九日發電通】コロンバイル間列車發生以來滿鐵絶絶してゐた東支線西部線は日本の滿洲里人と共に今般の陳情可能となつたので東線では鐵道の損傷ケ所の現ベをなした所損傷ケ所は僅かで從業員も全部無事なること判明し二月頃りで九日朝ハルビン發滿洲里行に就いた、館ジヤラントン以西の公安隊を廢し新たに保衛團を設け警吉兵をして之に當らしめることに決した

宮本先遣部隊の特筆すべき快擧

服部部隊長は語る

【ハイラル九日發本社特電】今次蘇炎討伐に際し拔群の活動を現はし滿洲里に一番乘をやつた宮本先遣部隊の服部部隊長は滿洲里占領につき語る

監業邦人が全部無事であつた事は何より自出度い、宮本先遣部隊今回の行動は我軍史上特筆すべき快擧であらう、兵が剛健な肉體と旺盛な精神を持つてゐたからこの強行軍に耐へたものと思ふ、聞く所によれば海拉爾地方は未だ人心動搖してゐるとの事であるが、一日も早く政治工作を行ひ治安確立並に新國家の善政を發布せねばならぬ

川崎部隊の戰死者氏名

【チチハル八日發電通】去る十月二十八日興安嶺で戰死を遂げた川崎部隊の五十八勇士中左の十二名が發見された

川崎大尉は左胸部貫通銃創にて戰死、その他の一名は黒川特務曹長、伯岸重男、齋藤上等兵、梁田綾三郎、長谷川栄三郎、齋藤市造、堀内喜三次、矢野金藏、深作松吉、伊藤周前、宮本某の各一等兵

死亡を遂行したが十一日より本格的に敵討作戰を開始する

覺悟してゐるものと殺されるものと

寺田特務機關長語る

【海拉爾九日發本社特電】七日間海拉爾に駐屯されてゐた特務機關長寺田少佐は七日飛行機で歸任の途に就いた

十一月二十八日突然監獄から引出され滿洲里に護送されたので殺されるものと覺悟してゐたが二日再び海拉爾に送られるやも多數の人が打つて變つた態度で迎へたので孤につまれた樣だつたがはじめて飛行機の有難味を知り數名の官民代表と共に迎へた譯である

服部部隊長滿洲里へ

山崎領事と會見

【海拉爾九日發電通】服部部隊長は八日午後一時半佐世保發臨時列車で歸任の途に就いた

巡洋艦出雲は第二十五驅逐隊と八代り後任驅逐艦八雲第八番ブイに警部したが、警部と同時に井上海軍武官、副官内藤部長、桑原市尹、關東長官、橋田港務官、成富憲兵隊長、佐々木領事等が同艦に赴き艦長關以下に面會勞を謝つた、現場附近の模樣につき井上海軍武官は驅逐艦長に代つて左の如く語つた

ブイは確かに早蕨艦のものだ

沈沒地點も見當はついた
草鹿北上艦長の談

拾ふことが出來なかつた、七日正午一隻のブイを拾つたがこれは確かに早蕨のものだと斷定出來た、其他には何等の手掛がないが而し大體見當はついた非常に確信を得たから何時間を得たらかゝる場合に於ける自己民族から割出し之が部の援護に於ける今後のために對したいと思つてゐろ、唯人間はたやすく死ねるものでない、必ず生きると云ふ强い信念を持てば運命は勇者を助けるものだと見る

北上は馬公で待機

【馬公九日發電通】重巡北上は驅逐艦の護衛のため豫定より一時間遲く馬公へ歸港し待機中である

天候の回復次第空中からも捜査

【馬公九日發電】遭難地には驅逐艦五十鈴、鵜川が警備水雷の曾我丸外五隻のトロール船を指揮して水中捜索中で天候回復と共に空中捜査をも行ふ豫定である

今ごろやつと負傷を發見

【馬公九日發電】中野主計長は右舷に二ケ所の盲過傷あり、その他各所に打撲傷を受けてゐる、三浦機關長も亦各所に打撲傷を受けてをるが、それ等は何れも昨日入谷後氣付いたと云つてゐる「その他の遭難者も殆ど同樣であらう」と左の如き話をつけ足した

【佐世保九日發電通】第二十六驅逐隊の三艘は同日午後六時半佐世保に歸港した

第二十六驅逐隊馬公に入港

【馬公九日發電通】第十九驅逐隊は驅逐艦北上と共に午後一時入港、第二十六驅逐艦、梅、柿、躑の四艘は午後二時共に捜索地から入港し燃料、食糧品の補給をなし整備する豫定である

第廿五驅逐隊けさ出港

【基隆電話】早朝基隆要港部で捜索中であつた第五驅逐隊水雷艇隊のため九日午後七時半基隆に入港した

檜谷蕃害事件の新嫌疑者二名檢擧

豫想外の抗頭番人二名

【基隆電話】七日午後基隆市田寮町警察署初蕃課に管轄内蕃人の大襲撃をなし人日夢想だにしなかつた襲撃事件を敢行した檜谷蕃害事件の容疑者として檢擧、留置取調べ中であつた抗頭番人タカセト外一名を有力なる證拠を以て八日午後九時半基隆に於て取調べの結果遂に犯行を自白するに至つたので直ちに同署に留置した

第二回引揚邦人敦賀に著く

夫々故國に向ふ

【敦賀九日發電通】コロンバイル發第二回引揚邦人八十八名一行を乘せた榛北丸は九日午前九時半敦賀檢疫所に檢疫を終へ同所に檢疫を終へ同所に檢疫を終へ同

漢文臺灣日日新報

主唱四小國讓步
聯盟難關或得脫離
將問題移於十九國委員會

八日齋府電。決議案被否決。日本脫退聯盟賦。小國決議案問題。總會延期一日。伊蔓斯議長。蔡文英外相。卓問陀事務總長等奔走結果。至八日夜。問題小心之捷克。愛爾蘭陀。西班牙。瑞西四國。讓步至左記二點。總會確認無妨故已知可脫難關。

一、右決議案移於總會。此非總會承認決議內容。或贊成之意。

二、右決議案。四國非因意見表明必要上。故取決議案形式而表決也。

九日總會。此等以議長宣言形式披露之。滿場意無異議。移於十九國委員會也。而松岡代表。若以此程度。必爲同意。如是則問題當移於十九國委員會也。

包含不承認之決議案
總會欲握潰之
惟審議捷克瑞西案

八日齋府電。八日總會散會後。伊蔓斯議長。宣言如左。

蔡熱中。毛陀卑氏提出決議案。比西班牙。捷克。愛爾蘭陀及瑞典四國代表提出之決議案優先。故總會惟欲審議蔡熱中。毛陀案。依四決議案。將全體問題。移於十九國委員會。故不言及四國案。

九日午前十時幹部會。求松岡代表出席。午後幹部會總機日本小國意見。九日午後總會。惟決議問題附託於十九國委員會而已。然總會幹部。欲將包含滿洲國不承認之四國決議案。爲之提出。事已確實。

小國不承認決議
中立態度斷不可
我松岡代表言明

八日齋府電。我松岡代表。八日午後二時五十分。總會再開。與英代表蔡文外相會見。關小國滿洲國不承認決議案。松岡代表。確言中立態度斷不可。爲此蔡文外相。邀卓問陀非務總長。伊蔓斯議長等。促膝交談。

聯盟總會
本日續開

八日齋府電。九日午前十時總會幹部會。審議決議草案及松岡首席代表之決議案撤回要求。總會於午後二時半（九日午後十時半）續行。

川崎部隊
戰死者名

八日齋府電。去十月二十八日。在泰北錦賊死川崎部隊陸五十八勇士中。發見十二名。

川崎大尉。因左腰部貫通銃創戰死。其他十一名。黑川特務曹長。鶴屋軍曹。齋藤上等兵。柴田敏三郎。長谷川條三郎。齋藤市造。堀內喜三次。矢野金藏。深作松吉。伊藤用治。宮本某各一等兵。

森恪氏重態

九日東京電。政友會顧問森恪氏。依然重態。八日午後七時。醫星主治醫診察結果。體溫三十八度五分。脈搏百。呼及三十。食慾動物。是日秋田議長以下。政友會代議士。多數存問之。

滙水昂騰

八日紐育電。本日美日滙水。超起四十五仙。爲二十弗九十五仙。

藏相靜養

九日東京電。高橋藏相。最近激務疲勞。特別會計豫算編成終了後。暫往葉山靜養。

定例閣議
決定事項

九日東京電。九日定例閣議。齋藤首相以下各閣僚（山本內相缺）出席。午前十時。在首相官邸開會。

滿洲翹望君主立憲
運動熾烈舊臣共鳴

八日新京電。滿洲國定國以來。僅十閱月。諸政急速革新。今爲獨立國家。完全發達。最近民衆之間。要望帝政之聲擡頭。漸次表面的運動。占政府主要持子之清朝舊臣。共鳴本運動。促進滿洲帝政實現。此運動乃依滿洲國各民族獨立精神。同時翹望立憲君主政體之帝國國際的躍進也。

第二十五驅逐艦隊
待天候復九日入某隆港

第二十五驅逐艦隊。梨。談曰。

天候雖漸回復。然波浪仍高。風速十米。早晚所要經費之形勢否。依然不明。現在現場。有軍艦數隻。及遲轉式發動機船。極力搜索。此驅逐艦隊。爲補給燃料。幷清水來某。現正待機中。有不論何時。均得出動之準備云。

各地氣溫降
山地方面
雪積五六寸

▲北部方面　六日　以來。氣溫俄然降下。七日山地方面。多見雨雪。蘆東郡尺立山郡境々山。海拔七千二百米突。及太平溪方面。俱積五六寸。其色皚々極其美觀。

▲宜蘭方面　四五日朝。氣候嚴寒。八日朝。標高一萬二千餘尺。次高連峰及大霸尖山々頂。一片白如玉。

▲臺中地方　爲中國方面高山一帶。多見雨雪。

華兵不意發機關銃
擊我軍裝甲車
居留民避難於兵營

九日天津至急報。中國駐屯軍發表。爲討伐土匪。在山海關東方約十哩。應援前所守備隊之〇〇部隊裝甲車。因欲補給淡水。八日午後八時十分。向山海關途中。在長城附近。中國兵忽襲擊。其沈默。我守備隊。緊急警備。居留民全部。避難於兵營。事件若中國無不法行爲。當不擴大也。

選舉法改正案
不認法制審議會
鳩山文相在閣議言

九日東京電。選舉法改正案所閣議。交換意見。乃決政府態度。相。謂照法制審議會之答申案。

一、概太施。行法律。特例中改正之件。

一、衆議院議員選舉法改正之件。

時評

○

主唱四小國讓步。聯盟難移於十九國委員會。此程度松岡代表必同意。

○

包含滿洲國不承認之四國決議案。總會幹部。似欲握潰。惟審議捷克瑞西之提案。我松岡代表。必不承認。

○

新竹郵便局。爲國一般利便。訂月十五日至末日。開辦年賀郵便事務。此客歲開辦期早五天。

大甲
裁縫講習

大甲郡沙鹿庄女子實業團。主催裁縫講習會。去七日午前九時。在庄役場樓上。由大岡庄長以下。舉行開會式。講生四十餘名。聚庄內婦女青年。共有二十七名。榮町四丁目四川旅舍。同日午後七時半。入同館西隣乃昌館。開裁縫講習會。是夜出席者。二十七名。

行兇究辨

○某山某町二丁目二郎萬次。與退伍軍人某。同所三丁目一八郎心中。在長城附近。中國兵忽襲擊。其沈默。我守備隊。緊急警備。秦皇島惟婦女子收容於兵營。當不擴大也。

道路補修

六家庄下新竹新地間所跨場斗溝間。溪洲二千張犁間等。之道路。前途八月中雨時。多被破壞。於是由何庄長首倡。自七日起興工補修。

年賀郵便

新竹郵便局。爲國一般利便。訂月十五日至末日。開辦年賀郵便事務。此客歲開辦期早五天。

密淫拘留

臺北市日新町一丁目二五二郎。年二十四。同所某氏某。年十八。同所某氏某。年十四。同市臺北府町二丁目一八北氏清琴年十八。在臺北市西門町四二八。劉氏快感密淫。七日元町派出所逮捕。同日午後。六日鈴木司法主任。令留置三日四五。

入浴失金

新營郡白河庄白河二七九李年四十一。去七日夜。宿新營市榮町四丁目四川旅舍。同日午後七時半。入同館西隣乃昌館。翌晨失金五百二十九圓。五十錢。火箸。逐對西門町派出所陳報。同火金之酌。事有司嚴。其童和嘉署。目下偵查云。

酒酔失物

嘉義市西門町。並榮助。主催農民文庫年十七。加名金恩。去六日。有一酒酔客。醉狂創傷。查立偵酒。意酔不起。該名逃走。聞警馳至。始嘗獲免。

臺北州下腸病顯增
死亡率亦多於客年
臺北市前月發生七十名

臺北州下。發生窓扶斯。觀以上統計。臺北市本年六月以降亦依然漸增。一度。發生最多。衛生當局希望二般市民。關窓扶斯防遏。更加注意云。

水上庄役場
公校落成式

臺南州新化郡水上庄。役場及同公學校落成式。於去八日午前九時舉行。有臺南州知事代理長谷川地方課長。藤村警務部長。暨地方重要官民。多數臨席。式後開祝賀會。演戲助興。頗見熱鬧云。

羅東
壯丁檢閱

羅東郡下壯丁團檢閱式。十日午前八時。舉行于羅東街運動場。出席團號十四團。人員五百五十餘名。而團員服裝。最近採用新式被服。式後開運動會云。

巡查義舉

羅東街方面委員。視察集市成。績良。而委員會。議決。金額七萬三千二百三十圓。內地人一萬二千餘圓。本島人一萬一千餘圓。

委員會議

羅東街區委員會議。去九日午前九時。開于羅東街。役場樓上。附託事項如下。一、設置澄堀。二、整理溝渠。三、改修道路。四、改良總代區表彰。五、優良總代區表彰。六、優勝區甲、中庄。四、實行組長表彰。七、優勝區甲、中庄外三塊厝。

臺中製帽界
漸呈活況

臺中州下製帽界。自入年末。神戶有大宗定購之通報。俄皇治氣。爲巡洋近合各種製帽。定購五萬頂以外于來年一二三月物。紙帽細物五分及六分。有分。販搏百。

本期赤糖過剩對策
關色相向上問題
當局亦答務爲斡旋

全島赤糖業者。前者爲本期赤糖增產過剩對策。欲開糖業者。爲沐低級課稅。低下品質色相。而製造粗惡赤糖。殊不合理。唯就消費稅法之改正。務執斡旋之勢。頗得好意的回答。第此改正。亦有關大藏省之意見如何。非至議會通過後。不能浴此恩惠。然本期赤糖過剩。須要擴張新取路。當局亦體諒製造業之立場。對色相査定上。應有多少寬恕云。

臺南州下
試耕煙草

專賣局臺南支局。以本島產兩切煙草。悉斯敏消費。逐年增加。原料告缺。玉以美國葉補充。然現對美漸水緊落。于生產上。大受打擊。就此對策。對原料生產地之花蓮港廳下移民種。于本年特令增植面積。又于煙草栽培適地。獎勵耕植。在臺南支局管內。于花蓮港廳各移民村而外。若玉里地方。亦可栽培。則西部地方殊如南部方面。亦料有煙草耕作適地。試改正。當局亦以被現行耕美國葉。近且著手具體

安全週間中
最初事故
自動車衝突

交通安全週間。自五日起實施。臺北市內。即無發生事故。不圖全第四日之去八日。忽有由新竹驅來之自動車。在市內。發生最初事故。是即新竹市西門町四百二十八番地貨物自動車商會運動手楊金鼎。年二十五。於同日午後一時半。運轉新一二二號貨物自動車。由臺北驛向州廳方面途中。至北門町九丁目附近。與由新竹驅來之自動車衝突。兩車破損。楊金鼎。及助手某。各受輕傷。

第二十五驅逐隊
待天候復九日入某隆港

第二十五驅逐艦隊。梨。談曰。

天候雖漸回復。然波浪仍高。風速十米。早晚所要經費之形勢否。依然不明。現在現場。有軍艦數隻。及遲轉式發動機船。極力搜索。此驅逐艦隊。爲補給燃料。幷清水來某。現正待機中。有不論何時。均得出動之準備云。

臺灣海事諸法規
按明年四月實施
深川遞信部長歸臺談

深川遞信部長。于八日午前十時總會。幹部會。審議決議草案及松岡首席代表之決議案撤回要求。總會於午後二時半（九日午後十時半）續行。

川崎部隊
戰死者名

八日齋府電。去十月二十八日。在泰北錦賊死川崎部隊陸五十八勇士中。發見十二名。

川崎大尉。因左腰部貫通銃創戰死。其他十一名。黑川特務曹長。鶴屋軍曹。齋藤上等兵。柴田敏三郎。長谷川條三郎。齋藤市造。堀內喜三次。矢野金藏。深作松吉。伊藤用治。宮本某各一等兵。

森恪氏重態

九日東京電。政友會顧問森恪氏。依然重態。八日午後七時。醫星主治醫診察結果。體溫三十八度五分。脈搏百。呼及三十。食慾動物。是日秋田議長以下。政友會代議士。多數存問之。

滙水昂騰

八日紐育電。本日美日滙水。超起四十五仙。爲二十弗九十五仙。

藏相靜養

九日東京電。高橋藏相。最近激務疲勞。特別會計豫算編成終了後。暫往葉山靜養。

定例閣議
決定事項

九日東京電。九日定例閣議。齋藤首相以下各閣僚（山本內相缺）出席。午前十時。在首相官邸開會。

滿洲翹望君主立憲
運動熾烈舊臣共鳴

八日新京電。滿洲國定國以來。僅十閱月。諸政急速革新。今爲獨立國家。完全發達。最近民衆之間。要望帝政之聲擡頭。漸次表面的運動。占政府主要持子之清朝舊臣。共鳴本運動。促進滿洲帝政實現。此運動乃依滿洲國各民族獨立精神。同時翹望立憲君主政體之帝國國際的躍進也。

炭車衝胸出血
未幾死亡

臺北州基隆郡双溪庄武丹坑字蘇坑。二十六番地。炭車後押人夫鄭春富。年三十五。去八日午前七時四十分。押空炭車。至同所後富炭車。途中爲石炭車方面。衝及胸部。內臟出血。至午前十時死亡。

兩惡少拘留
爲誘兩少女
強汚未遂

嘉義郡竹崎庄。鷲起二二〇。某珈琲店女。×子。×子兩名。日前受刑事召喚。隔宿不歸。關于色情乎。抑詐欺賭博乎。風說紛々。莫衷一是。

故滿虹友周士衡者。因占一月。及同士衡。兩名。年二十一。

茶前酒後

胡氏子九歲。肄學公學。某日歸途。遭近隣。兒童毆打。訴其父兄可矣。爲其親者。何必小題大作。提出告訴。致其子受飢。荒廢學課。識者皆如是好事哉。

某珈琲店女。×子。×子兩名。日前受刑事召喚。隔宿不歸。關于色情乎。抑詐欺賭博乎。風說紛々。莫衷一是。

故滿虹友周士衡者。因占一月。及同士衡。兩名。年二十一。

斗六
大賣宣傳

斗六郡酒類煙草小賣人之酒類煙草小賣人之酒類。組織斗六酒類煙草小賣人之酒類油製造原料之糊油。誤認爲珈琲。且其味香。而食之。竟嘔吐。即時醫家。延陳海水醫師。急速治療。幸無生命之危云。

嘉義
視察團來

嘉義郡竹崎庄。鷲起二二〇。朝鮮認可附。主催嘉義郡教育會。管內壯丁團。第七團。會所在圖內公校。執行聯合檢閱。

乙巡募集

新竹州。爲募集乙巡徵習生。訂十五日午前八時起。在州廳警務部。及桃園苗栗兩郡街。執行筆試。科目國語。算術。

管東交通
新竹

新竹州保安課。訂月十一日起三日間。在州下市街。爲實施交通管束。於交通要地。樹立交通標識。併宣傳左側通行。

發取締府令事項如下。一、設置澄堀。二、整理溝渠。三、改修道路。四、改良總代區表彰。五、優良總代區表彰。六、優勝區甲、中庄。四、實行組長表彰。七、優良總代區表彰。優勝區甲、中庄外三塊厝。

安全週間中
最初事故
自動車衝突

交通安全週間。自五日起實施。臺北市內。即無發生事故。不圖全第四日之去八日。忽有由新竹驅來之自動車。在市內。發生最初事故。是即新竹市西門町四百二十八番地貨物自動車商會運動手楊金鼎。年二十五。於同日午後一時半。運轉新一二二號貨物自動車。由臺北驛向州廳方面途中。至北門町九丁目附近。與由新竹驅來之自動車衝突。兩車破損。楊金鼎。及助手某。各受輕傷。

員林煙草耕作
獎勵授賞

員林郡煙草耕作組合。去八日午前九時。於員林公會堂。舉行耕作獎勵金授與式。並褒賞授與式。專賣局有提煙草課長。安達技師。臺中支局長奧村氏以外。多數臨席。當日獲賞者。一、專賣局耕作獎勵金。二等賞二十圓。永靖胡萬章。四等賞八圓。員林沈啓明外八名。五等賞五圓。張樹旺外十一名。二、共同苗床一等賞員林江柳。二等賞二水陳金泉外二名。三等賞二水蔡阿隣外五名。同海埔厝八區五六名。同九區五二名。同十一區八九名。同恰日升一名。

種粟檢查

和粟之檢查。自去二十四日起。派員出赴龍井沙鹿各農村。照指定日程。二萬行檢查。預定至來十四日。全部告畢。其受檢查地域。計八區數如下。二區四四名。同三四區六八名。同字中央五十八名。同字中央五十八名。同頭寮五七名。同塗窟堀六十二名。同三四區四名。同三四區六八名。同字中央五十八名。同頭寮五七名。同塗窟堀六十二名。同海埔厝八區五六名。同九區五二名。同十一區八九名。同恰日升一名。

斗六
大賣宣傳

斗六郡酒類煙草小賣人之酒類。組織斗六酒類煙草小賣人之酒類油製造原料之糊油。誤認爲珈琲。且其味香。而食之。竟嘔吐。即時醫家。延陳海水醫師。急速治療。幸無生命之危云。

小生中毒

斗六郡各高等小學校。見當三年生數名。去七日有由國庸會社所持來之糊油製造原料之糊油。誤認爲珈琲。且其味香。而食之。竟嘔吐。即時醫家。延陳海水醫師。急速治療。幸無生命之危云。

嘉義
視察團來

嘉義郡竹崎庄。鷲起二二〇。朝鮮認可附。主催嘉義郡教育會。管內壯丁團。第七團。會所在圖內公校。執行聯合檢閱。

乙巡募集

新竹州。爲募集乙巡徵習生。訂十五日午前八時起。在州廳警務部。及桃園苗栗兩郡街。執行筆試。科目國語。算術。

詩壇

蒲都常聲館偶得

田園外小島築園錦木天山三洋

久保得二

海山開逸景。漁客此遲留。一一園蒲都。孤帆往竹洲。軒高宜引月。樹遠忽生秋。心管拋塵界。當庭試咏酬。

○

蕉友拍肩逐。共留廬外隣。涼風度邊水。秋氣入疎鍾。天迥煙低地。宵深月在松。詩成誰和者。露底起啼蛩。

常永師常來過有詩見贈乃次其韻

把情高襟話所思。坡公堂屋始堪師。病餘性命素非重。海外文章仍要奇。擬地崩時澈微徑。冲天明月弄妍姿。

雅逐猿地成留滯。東望帝京歸又遲。

待得詩成酬臺澤。知君孤塊肺填胸。洗心每對無邊水。磬都獨作何處峰。欲別中宵即蟾蜍。杜思他日來芙蓉。

墜于奔走風塵底。回首浮生事再重。

蔡觀范火地球。且回遊過記合游。夕陽野店當壚女。夜月津亭棄權謳。興廢千秋頻灑淚。風雲一劍獨登樓。從來感慨爲吾性。拾道題詩遍野陬。

五律各一聯皆佳。七律興廢翻沈鬱。遒壯。極似老杜。